# OOK NEWS from MARUZEN-YUSHODO

2023.06.01 作成

## 2023年5月新聞書評に掲載された本



### 十字路が見える~完全版~<1> 東風に誘われ

北方 謙三 著

岩波書店

おい、小僧。いや、君。これから散歩に出るぞ。一緒に歩こうか-。等身大の北方謙 三が人生の歓びと切なさを綴ったエッセイを集成。中篇小説「ブルースがあたしを抱 いた」も収録する。『週刊新潮』ほか掲載を書籍化。

2023:1./ 8p,348p 978-4-00-026657-4 ¥3,080〔稅込〕



産経新聞 2023/05/06



## ぴよちゃんのおたんじょうび(しかけボードえほん)

いりやま さとし 著

学研

今日は、ぴよちゃんのお誕生日。お母さんがバースデーケーキを作ってくれました。 やがて、みんながプレゼントを持ってやってきて…。バースデーケーキが飛び出すし かけや、めくるしかけが楽しい絵本。見返しに書き込み欄あり。

2023:4./ 1 冊(ページ付 なし) 978-4-05-205460-0



¥1,650〔稅込〕

産経新聞 2023/05/06



### 49 冊のアンアン

椎根和 著

フリースタイル

1970年、堀内誠一が編集長以上の権限を持つ日本初のアートディレクター制の雑誌 として生まれた特別な49冊の『アンアン』。『オリーブ』などの創刊編集長を務め た著者が、若き日の自らが携わったこの雑誌について語る。

2023:3./ 285p 図版 16p 978-4-86731-005-2 ¥2,200〔稅込〕



産経新聞 2023/05/06、東京・中日新聞 2023/05/07

- ●ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- ●原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ●ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- ●表示価格は 2023 年 5 月時点での税込み価格です

## **MMARUZEN-YUSHODO**



## 徳川家康の最新研究〜伝説化された「天下人」の虚像をはぎ取る〜(朝日新書 902)

黒田基樹 著

朝日新聞出版

実は今川家の人質ではなく厚遇されていた! 嫡男と正妻を自死に追い込んだ信康事件の真相とは? 少年期から将軍任官までをたどり、現段階で明らかになっている、家康の政治動向を紹介する。

2023:3./ 242p 978-4-02-295209-7

¥935〔税込〕



産経新聞 2023/05/07



### 忘らるる物語

高殿 円著

**KADOKAWA** 

女が産み、男が支配する世界。全てを奪われ"産む"ためだけに生かされる少女・環璃は、触れた男を塵にする力をもつチユギという名の戦士に出会い…。

『BOOK☆WALKER』他掲載を加筆・修正。

産経新聞 2023/05/07



### ふしぎ草子~あやしくもふしぎな八つの物語~

富安 陽子 著

小学館

子どもたちが帰った小学校で、どこからかポロンとピアノの音が聞こえてきた。先生が、今は使われていない古い音楽室の戸を開けると、そこにいたのは…。「ピアノ」をはじめ、こわい話・あやしい話・ふしぎな話、全8話を収録。

2023:3./ 422p 978-4-04-111392-9 ¥2,090〔稅込〕



978-4-09-289324-5 ¥1,320〔税込〕

2023:4./ 192p



産経新聞 2023/05/07



## 厳島

武内 涼 著

新潮社

兵力わずか四千の毛利元就軍が二万八千の陶晴賢軍を打ち破った「厳島の戦い」。名 勝負の陰には壮絶な人間ドラマがあった。毛利元就と弘中隆兼の対照的な2人の武将 を通して人間の矜持を問う歴史巨編。『産経新聞』連載を改稿。 2023:4./ 430p 978-4-10-350644-7 ¥2,530〔税込〕



産経新聞 2023/05/07



### <猫>の社会学〜猫から見る日本の近世〜現代〜

遠藤 薫著

勁草書房

人間たちはいかに猫を人間社会の外部に位置づけながら、そのイメージを構成してきたのか。江戸期の猫ブームから現代のキャット・ミームまでの<猫イメージ>を紐解きながら、日本社会の変動と猫たちの歴史との交差を読み解く。

産経新聞 2023/05/07

2023:2./ 8p,301p,16p 図版 8 枚 978-4-326-65440-6 ¥3,520〔税込〕





## 吸血鬼ヴァーニー~或いは血の饗宴~<第1巻>(奇想天外の本棚)

ジェームズ・マルコム・ライマー/トマス・ペケット・プレスト 著 国書刊行会

嵐の夜、没落した名家の娘フローラの部屋に侵入した怪物は、彼女の喉笛に牙のような歯を突き立てた。ほとばしる血潮があふれ、室内にはそれを吸う異様な音が響き…。ヴィクトリア朝時代のゴシック・ホラー小説の伝説的作品。

2023:3./ 408p 978-4-336-07407-2 ¥2,750〔税込〕



産経新聞 2023/05/07



## あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻

近藤恵介/冨井大裕 著

НеНе

2019年の令和元年東日本台風にて7作品すべてが被災した近藤恵介と冨井大裕の共作。作品の修復過程を追いながら、以前のかたちを失ってしまった作品の新たな展開と経験をふまえて制作された新作、その経緯と心情の記録。

2023:3./ 85p 978-4-908062-51-3 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2023/05/07



### ここに素敵なものがある

リチャード・ブローティガン 著

百万年書房

恐怖からきみは一人ぼっちになるだろう、きみはいろんなことをする、だけどどれもぜんぜんきみらしくない。(「恐怖からきみは一人ぼっちになるだろう」より) 米国の詩人で作家のリチャード・ブローティガンの詩集。

2023:1./ 111p 978-4-910053-34-9 ¥2,200〔税込〕



産経新聞 2023/05/07



### ライク・ア・ローリングカセット~カセットテープと私-インタビューズ 61

 $\sim$ 

湯浅 学 著

小学館

撮影所で録音した今は亡き偉大な先輩の歌声、今は袂を分かった親友とのセッション…。野球選手、作家、ミュージシャンなど各界の人々が秘蔵カセットについて語るインタビュー集。『ビッグコミックスペリオール』掲載を書籍化。

2023:3./ 270p 978-4-09-388899-8 ¥2,750〔稅込〕



産経新聞 2023/05/07、東京・中日新聞 2023/05/21



## まんぷくモンゴル!〜公邸料理人、大草原で肉を食う〜(わたしの旅ブックス 044)

鈴木 裕子 著

産業編集センター

羊のしっぽが一番のご馳走!? 飲み会はいつもオールナイト? 給食のおばちゃんから モンゴルの公邸料理人になった著者が、知られざる遊牧民の食と暮らしを紹介する。 コラム「これを食べたい!モンゴルごはん」も掲載。

産経新聞 2023/05/07、毎日新聞 2023/05/13

2023:3./ 239p 978-4-86311-356-5 ¥1,320〔稅込〕





### 高学歴親という病(講談社+a 新書 862-1C)

成田 奈緒子 著

講談社

なぜ高学歴な親ほど子育てに失敗するのか。「学歴偏重主義という病」に冒されている高学歴な親に向けて、多様性の時代にどんな環境でも通用する「普遍的な人間力」が身に付く子育て法を具体的に指南する。

2023:1./ 183p 978-4-06-530212-5 ¥990〔税込〕



産経新聞 2023/05/13



## 音楽は自由にする(新潮文庫 さ-37-2)

坂本 龍一 著

新潮社

幼稚園での初めての作曲。厳格な父の記憶。高校でのストライキ。YMO の狂騒。 「ラストエンペラー」での苦闘と栄光。同時多発テロの衝撃。そして辿りついた新しい音楽-。57 年間の半生と音楽を自らの言葉で語った自伝。 2023:5./ 331p 978-4-10-129122-2 ¥1,100〔税込〕



産経新聞 2023/05/13



### うたかたモザイク

一穂 ミチ 著

講談社

甘い出来事も、苦い経験も。いろんな味が楽しめるから、人生は美味しい-。「人魚」「レモンの目」「ツーバイツー」「神さまはそない優しない」など、スパイスをきかせた 13 の物語を収録する。

2023:3./ 253p 978-4-06-530721-2 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2023/05/14



### 浪華燃ゆ

伊東 潤 著

講談社

陽明学を究めた学者でもあり、大坂町奉行の敏腕与力でもあった大塩平八郎は、家族、門人たちをも巻き込んで、命を懸けた世直しに挑む。幕末前夜、大坂の町を焦土と化した乱のすべてを描く。『小説現代』掲載に加筆、訂正。

2023:3./ 347p 978-4-06-530813-4 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2023/05/14



### 完全シミュレーション台湾侵攻戦争(講談社+α 新書 864-1C)

山下 裕貴 著

講談社

陸上自衛隊元陸将が、中国・台湾・アメリカ・日本の軍事能力など様々な情報を基に 分析を行い、最も可能性があると思われるシナリオに基づいて中国軍の台湾侵攻及び 日本への波及、アメリカの参戦などをシミュレーションする。

978-4-06-531959-8

¥990〔稅込〕

2023:4./ 213p

産経新聞 2023/05/14



### 山本五十六~アメリカの敵となった男~(中公選書 135)

相澤淳 著

中央公論新社

真珠湾攻撃は「ペリーの御礼参り」だったのか-。戦前戦後の価値観の変遷を踏まえた上で、航空戦力への先見的な着目、自身の転機となったロンドン海軍軍縮会議、対 米認識を軸に、山本五十六の実像を明らかにする。 2023:3./ 7p,205p 978-4-12-110136-5 ¥1,870〔稅込〕



産経新聞 2023/05/14



## こんばんは、太陽の塔

マーニー・ジョレンビー 著

文藝春秋

少女時代から陶芸家を目指してきたカティアは、恋人でもある師匠と決裂。偶然舞い込んだ大阪の女子校の英語講師の椅子にとびつき、アメリカを離れる。しかし、ある悩みを抱え…。異国の地でひとり懸命に奮闘する青春小説。

2023:4./ 271p 978-4-16-391681-1 ¥2,090〔税込〕



産経新聞 2023/05/14



### 美しき人生

蓮見 圭一 著河出書房新社

20歳で再会した初恋の彼女は不治の病に冒されていた-。孤児であった校長真壁が語る、秘められた切ない恋と愛の奇跡。「水曜の朝、午前三時」の著者による書き下ろし長編。

2023:4./ 278p 978-4-309-03102-6 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2023/05/14



### 月かげ

ジェイムズ・スティーヴンズ 著

河出書房新社

月がなかったなら、孤独ばかりが目に映っただろう-。あいまいな出会い、心乱す欲望、溶けてゆく人生。ジョイス、イェイツに並ぶ巨匠による短篇集。表題作をはじめ、「欲望」「飢餓」「同級生」などを収録。

2023:3./ 194p 978-4-309-20876-3 ¥2,420〔税込〕



産経新聞 2023/05/14



### 中国軍、その本当の実力は~中国軍は台湾を着上陸侵攻できるのか~

樋口譲次 著

国書刊行会

「台湾有事は日本有事」の危機が叫ばれる中、中国軍の本当の実力を解明することは 喫緊の課題である。ウクライナ戦争と尖閣・台湾侵攻に必須の着上陸作戦を題材に、 その実情に迫る。

の実情に迫る。

2023:4./ 249p 978-4-336-07500-0 ¥2,640〔税込〕



産経新聞 2023/05/14



## 平安貴族の仕事と昇進~どこまで出世できるのか~(歴史文化ライブラリー 570)

井上 幸治 著

吉川弘文館

みやびな印象の平安貴族だが、古記録からは任官や昇進に奔走し、連日政務に疲弊する、過酷な日々が見えてくる。公卿と下級官人の人生サイクルの違いにも着目し、説話文学や日記を中心に平安貴族たちの日常を解き明かす。

2023:5./ 5p,192p 978-4-642-05970-1 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2023/05/14



### 新・建築職人論~オープンなものづくりコミュニティ~

松村 秀一 著

学芸出版社

千年続く"職人社会"は今、かつてないタイプの技能者が自由に出入りできる時代を迎えようとしている。女性職人、コミュニティ大工、発信する DIYer 等の技能者たちの姿から、ものづくりの面白さや建築の未来を展望する。

2023:3./ 191p 978-4-7615-2842-3 ¥2,530〔税込〕



産経新聞 2023/05/14



### 習近平の軍事戦略~「強軍の夢」は実現するか~

浅野 亮/土屋 貴裕 著

芙蓉書房出版

軍事力を強化し「強軍目標」を掲げて改革を進める中国をどう捉えるのか。習近平政権 2 期 10 年の軍事改革を詳細に分析し、これまでの指導者のものとはどう違うのかを明らかにするとともに、今後の改革の行方を探る。

2023:4./ 279p 978-4-8295-0860-2 ¥2,970〔税込〕



産経新聞 2023/05/14



#### 世界でいちばん熱い日本酒

岡本進 著

朝日新聞出版

古い常識を打ち破り、新世代が日本を代表する名酒を次々と誕生させている。彼らはどのように活路を拓いたのか・。日本酒醸造業界に新風を巻き起こす様子を綴ったノンフィクション。『朝日新聞』福島版連載を加筆し書籍化。

2023:2./ 312p 978-4-02-251875-0 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2023/05/20



### テムズとともに~英国の二年間~

徳仁親王 著

紀伊國屋書店出版部

1983 年から約 2 年間を過ごされた、オックスフォード大学での日常生活や研究生活、音楽活動、ご学友との交流、登山やテニスなどのスポーツ、英国内外への旅…。 天皇陛下、青春時代の清新な英国留学記。

産経新聞 2023/05/20

2023:4./ 219p 978-4-314-01200-3 ¥1,100〔税込〕





### 時計泥棒と悪人たち

夕木 春央 著

講談社

父が実業家・加右衛門氏へ売ったのは、贋物の置時計だと知った井口。泥棒に転職を した蓮野とともに、その置時計を盗むことを計画するが…。「加右衛門氏の美術館」 など全6編を収録する、浪漫あふれる大正ミステリー連作。 2023:4./ 524p 978-4-06-531241-4 ¥2,365〔稅込〕



産経新聞 2023/05/21



### 声をあげて

五ノ井 里奈 著

小学館

震災を契機に自衛官を夢見た少女は、入隊後、絶望を味わった。訓練中の性暴力を報告するも自衛隊は黙殺。そして彼女は実名・顔出しでメディアに訴えることを決意したが…。日本中に勇気を与えた女性の記録。

2023:5./ 230p,9p 978-4-09-389104-2 ¥1,650〔稅込〕



産経新聞 2023/05/21



### 花に埋もれる

彩瀬 まる 著

新潮社

憧れ、執着、およそ恋に似た感情が幻想を呼び起こし、世界の色さえ変えていく-。 女による女のための R-18 文学賞受賞作「花に眩む」も収録した、ベストアルバム的 短編集。 2023:3./ 193p 978-4-10-331965-8 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2023/05/21



### 幽霊ホテルからの手紙

蔡駿 著

文藝春秋

血だらけの女優から託された木匣を届けに、海と墓地の間にある幽霊ホテルを訪ねた作家。12 通の手紙が物語る、狂気と惨劇とは-。中国で圧倒的な人気を誇る作家によるホラーミステリー。

2023:4./ 350p 978-4-16-391690-3 ¥2,145〔税込〕



産経新聞 2023/05/21



### 腐ったテレビに誰がした?~「中の人」による検証と考察~

鎮目博道 著

光文社

ニュースが信頼をなくしたのは「レギュラーコメンテーター」がいるから。海外ロケには「不思議なお約束」が…。テレビ局に 27 年間在籍した OB が、「赤裸々なテレビ業界の内部事情」を情報開示する。

**兼界の内部事情」を情報開示する。** 

2023:2./ 205p 978-4-334-95363-8 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2023/05/21



### 園芸のジャポニスム〜明治の庭師ハタ・ワスケを追って〜

鈴木 順二著

平凡社

作家ゴンクールの日記に記された、謎の日本人庭師ハタ・ワスケ。1889年のパリ万博で渡仏し、腕一つで生き抜き、富豪のお抱え庭師となった彼の後半生と事績を、フランスにおける園芸のジャポニスムと共に明らかにする。

2023:3./ 439p 978-4-582-83922-7 ¥4,620〔税込〕



産経新聞 2023/05/21



## triste~歌集~

川崎 あんな 著

左右社

せめぎあひながら白なる山霧とあをなる草の夏はいろあひ 冷や麦にしませうと云ひ 昼過ぎには青葱刻むけふなる夕餉 鳥兜みだれ咲きをる在りやうのそれは刈り場と知れるはわれの 歌集。

2023:3./ 264p 978-4-86528-363-1 ¥2,640〔税込〕



産経新聞 2023/05/21



### スタジアムの神と悪魔~サッカー外伝~ 改訂増補版

エドゥアルド・ガレアーノ 著

木星社

教会のない村はあってもサッカー場のないところはない。不滅の一瞬を信じて人は今日もスタジアムに集う…。ラテンアメリカ発極上のサッカーエッセイ。原書イラストを掲載するなどした改訂増補版。

2023:4./ 334p 978-4-910567-05-1 ¥4,070〔税込〕



産経新聞 2023/05/21



### 17 音の青春~五七五で綴る高校生のメッセージ~<2023>

学校法人 神奈川大学広報委員会 編

#### KADOKAWA

17 音の俳句に凝縮された高校生たちの青春の日々…。第 25 回神奈川大学全国高校生俳句大賞の入選作品を紹介する。応募高校一覧、団体賞受賞校、一句入選作品、選考委員の言葉なども収録。

2023:4./ 173p 978-4-04-884527-4 ¥770〔稅込〕



産経新聞 2023/05/21、読売新聞 2023/05/28



### 中華を生んだ遊牧民〜鮮卑拓跋の歴史〜(講談社選書メチエ 785)

松下 憲一 著

講談社

4世紀の華北に遊牧王朝・北魏を建て、五胡十六国を統一した鮮卑拓跋部。「野蛮な胡族」が漢族を支配し、今にいたる「中華のスタンダード」を創造する対立と融合の 300年の歴史を描く。

産経新聞 2023/05/28

2023:5./ 243p 978-4-06-531839-3 ¥1,870〔税込〕





### 明治のナイチンゲール大関和物語

田中ひかる 著

中央公論新社

看護婦が「賎業」とされた明治時代、女性の経済的自立を目指し、職業看護婦の道を切り拓いた女性たちがいた-。この賎業に就き、生涯をかけて看護婦の技能の向上と制度化に努めた大関和と、彼女を支え続けた鈴木雅の物語。

2023:5./ 317p 978-4-12-005653-6 ¥2,310〔税込〕



産経新聞 2023/05/28



## 北の前奏曲~早坂文雄と伊福部昭の青春~

西村 雄一郎 著

音楽之友社

映画「七人の侍」と「ゴジラ」。昭和7年、この音楽を作曲した早坂文雄と伊福部昭の2人は札幌で出会う。独学で音楽を勉強した彼らは、どのようにしてオリジナル溢れる音楽を作曲できたのか?書き下ろしノンフィクション。

2023:4./ 270p 978-4-276-21607-5 ¥2,860〔税込〕



産経新聞 2023/05/28



### シネドラ建築探訪

宮沢洋 著

日経BP社

建築家ってモテるの? 偏屈でお金には無頓着? 「テルマエ・ロマエ」から「冬ソナ」「結婚できない男」まで、映像に描かれた建築家や建築物と現実とのギャップを、元『日経アーキテクチュア』編集長がつづる。

2023:3./ 268p 978-4-296-11746-8 ¥2,640〔税込〕



産経新聞 2023/05/28



### オルバンのハンガリー〜ヨーロッパ価値共同体との相剋〜

山本 直 著

法律文化社

ハンガリーが加盟する EU や西欧諸国は、なぜハンガリーにおける民主主義の後退を 食い止められなかったのか。 EU の対応や欧州次元での政党運営、さらには中国やロ シアとの関係にも触れながら解明を試みる。 2023:5./ 7p,248p 978-4-589-04271-2 ¥6,380〔税込〕



産経新聞 2023/05/28



### 落語×文学~作家寄席集め~

恩田 雅和 著

彩流社

近現代の作家や文学者、画家達の作品と「落語、落語家、寄席」に纏わる逸話を集め、広く世に知られた事象から著者が探り当てた事柄まで多岐にわたる蘊蓄をまとめる。『産経新聞』『大阪府保険医新聞』連載を書籍化。

産経新聞 2023/05/28

2023:3./ 214p 978-4-7791-2849-3

¥2,750〔稅込〕





### 染司よしおかに学ぶはじめての植物染め 新装改訂版

吉岡 更紗 著

紫紅社

古から伝わる植物染めの技法により、美しい自然の色を表現する京都「染司よしおか」。一年間にわたり工房で学んだ植物染めの技法、化学染料を使わずに家庭でできる植物染めの工程を写真で詳しく解説する。

2023:4./ 103p 978-4-87940-653-8 ¥2,200〔税込〕



産経新聞 2023/05/28



#### 白蕾記

佐藤 雫著

#### KADOKAWA

大阪の蘭学塾を営む緒方洪庵に嫁いだ八重。ぎこちない暮らしの中、次第にふたりは 心を通わせていく。そんな中、恐るべき疫病の疱瘡が流行の兆しを見せはじめ…。近 代医学の礎を築いた夫婦と教え子たちの葛藤と成長を描く。 2023:4./ 307p 978-4-04-112364-5 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2023/05/28、東京・中日新聞 2023/05/28



## 塀の中のおばあさん〜女性刑務所、刑罰とケアの狭間で〜(角川新書 K-417)

猪熊 律子著

#### KADOKAWA

激増する高齢女性受刑者。彼女たちはなぜ塀の中へ来て、今、何を思うのか。受刑者らの生々しい声や、刑罰とケアの狭間で苦悩する刑務官らの本音等から、超高齢社会の新課題に迫る。『読売新聞』連載を再構成し加筆・修正。

2023:3./ 246p 978-4-04-082470-3 ¥1,034〔税込〕



朝日新聞 2023/05/06



### 妖怪大戦争(角川文庫)

荒俣 宏著

角川書店

「妖怪を見ることができる」という特殊な能力を持った弱虫の少年・タダシ。日本中の妖怪たちと力を合わせ、魔人・加藤保憲と戦うことに-!愛と勇気の冒険ファンタジー!

2005:7./ 443p 978-4-04-169038-3

¥792〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/06



### ドラゴン最強王図鑑~No.1 決定トーナメント!!~

学研プラス

ワイヴァーン vs ムシュフシュ、ベーオウルフ・ドラゴン vs ヴィーヴル、ケツァルコアトル vs 応龍…。一番強いドラゴンは誰だ! さまざまな姿のドラゴンが一堂に会するトーナメント戦をイラストで紹介する。特別会員証付き。

2022:3./ 143p 978-4-05-205540-9 ¥1,320〔税込〕



朝日新聞 2023/05/06



### Bye-Bye アタシのお兄ちゃん(ワイド KC)

竹内 佐千子 著

講談社

ここはふしぎなふしぎな喫茶店。 人生に疲れたらここにおいで。 かわいい妹メイドが今日もお兄ちゃんの帰りを待ってるよ。 妹のおまじないで、お兄ちゃんのいやなこと、ぜ〜んぶ忘れられますように☆

2023:3./ 224p 978-4-06-531097-7 ¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2023/05/06



## 背高泡立草(集英社文庫 ふ 40-1)

古川 真人 著

集英社

草は刈らねばならない。そこに埋もれているのは、納屋だけではないから-。長崎の島に暮らし、時に海から来る者を受け入れてきた一族の、歴史と記憶の物語。書き下ろし短編「即日帰郷」も収録。

2023:3./ 191p 978-4-08-744496-4



朝日新聞 2023/05/06



### 黄色い家〜SISTERS IN YELLOW〜

川上未映子 著中央公論新社

惣菜店に勤める花は、ニュース記事で黄美子が若い女性の監禁・傷害の罪に問われているのを見つけた。20年前花は、黄美子と少女たち2人と疑似家族のように暮らしていて…。『読売新聞』連載を書籍化。

2023:2./ 601p 978-4-12-005628-4 ¥2,090〔税込〕



朝日新聞 2023/05/06



### 卑弥呼とヤマト王権(中公選書 134)

寺沢薫 著

中央公論新社

3世紀初頭、卑弥呼を初代大王として纏向の地に誕生したヤマト王権は、いかなる背景のもとに、どんな経緯をへて成立したのか。纏向遺跡から出土した数々の遺構と遺物を詳細に紹介し、王権誕生のドラマを明らかにする。

2023:3./ 430p 978-4-12-110135-8 ¥2,860〔税込〕



朝日新聞 2023/05/06

### 砂丘が動くように(中公文庫)

日野 啓三 著 中央公論新社 朝日新聞 2023/05/06 1990:3./ 268p 978-4-12-201692-7 ¥448〔税込〕





### ノー・カントリー・フォー・オールド・メン(ハヤカワ epi 文庫 108)

コーマック・マッカーシー 著

早川書房

ヴェトナム帰還兵モスはメキシコ国境付近で麻薬密売人の殺戮現場に遭遇する。モスは大金が入った鞄を持ち逃げするが、非情で異様な殺し屋が追ってくる。必死の逃亡劇は惨劇を引き起こし...。映画「ノーカントリー」の原作。

2023:3./ 414p 978-4-15-120108-0 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2023/05/06



## K-POP 現代史~韓国大衆音楽の誕生から BTS まで~(ちくま新書 1722)

山本 浄邦 著

筑摩書房

K-POP の熱狂はいかにして生まれたのか。植民地支配における韓国大衆音楽の誕生から、BTS の世界的成功まで、激動の 100 年の情勢を押さえつつ、今日に至るジャンルと国境を越えたダイナミックな発展を通史的に論じる。

2023:4./ 253p 978-4-480-07547-5



朝日新聞 2023/05/06



### 休館日の彼女たち

八木 詠美 著

筑摩書房

ホラウチリカが大学の恩師から紹介された仕事は、古代ローマの女神像のおしゃべり相手だった。有機物と無機物の境界すら越えて、ホラウチリカとヴィーナスは手に手を取り合い駆け出していく...。

2023:3./ 151p 978-4-480-80510-2 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2023/05/06



### 赤朽葉家の伝説(創元推理文庫)

桜庭 一樹 著

東京創元社

千里眼の祖母、漫画家の母、そして何者でもないわたし。旧家に生きる三代の女たち、そして彼女たちを取り巻く一族の姿を鮮やかに描き上げた稀代の雄編。

2010:9./ 456p 978-4-488-47202-3

¥880〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/06



### 酔いどれクライマー永田東一郎物語~80年代ある東大生の輝き~

藤原 章生 著

山と渓谷社

東大スキー山岳部に8年在籍し、カラコルムの難峰 K7 の初登頂を果たした永田東一郎。だが登頂を機に登山の世界から離れ、建築の道に進むも、病で46年の生涯を閉じ…。圧倒的な存在感を放ちながら破天荒に生きた男の人物伝。

2023:2./ 381p 978-4-635-34042-7 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2023/05/06



### なぜ男女の賃金に格差があるのか~女性の生き方の経済学~

クラウディア・ゴールディン 著

慶應義塾大学出版会

育児をしながら働き続けるときに、女性の前に立ちはだかるものは何なのか。ジェンダー平等が進んできた現在でも残る男女の賃金格差の構造を、歴史と詳細なデータから解き明かす。

2023:4./ 385p 978-4-7664-2847-6 ¥3,740〔税込〕



朝日新聞 2023/05/06



## 民主主義を装う権威主義〜世界化する選挙独裁とその論理〜(叢書 21 世紀の 国際環境と日本 008)

東島 雅昌 著

千倉書房

権威主義体制国家の独裁者たちは、選挙を巧妙に操作し、自分たちの思う結果を得ようとしている。「民主主義を装う権威主義」となった現代独裁制がおこなう統治の実態に迫り、その論理と、問題解決への道筋を探求する。

2023:2./ 4p,399p 978-4-8051-1283-0 ¥6,160〔税込〕



朝日新聞 2023/05/06



## けもの道〜狩猟の道を切り開く狩猟人必読の専門誌〜<2023 春号> Hunter's sprinG(三才ムック)

三才ブックス

狩猟の道を切り開く、狩猟者による、狩猟者のための専門誌。特集「希少狩猟犬と猟に行く」をはじめ、山梨県峡東地域での鹿笛猟のレポートや、ハンターのための射撃 入門、巻狩りのススメなどを収録。 2023:4./ 120p 978-4-86673-360-9 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2023/05/06



### 男社会をぶっとばせ!反学校文化を生きた女子高生たち

梶原公子 著

あっぷる出版社

高校時代の「付き合う」は女性だけに用意された、妊娠出産というライフステージに乗るための助走。90年代、地方都市の底辺校に生きた女子高生たちは、このステージをどう乗り越えたのか。元教員が彼女たちの物語を記述する。

2023:3./ 189p 978-4-87177-364-5 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2023/05/06

### **TATARA**

松本 薫 著 今井出版

朝日新聞 2023/05/06

2010:10. 978-4-901951-68-5 ¥1,938〔税込〕





### よその島(中公文庫 い 115-3)

井上荒野 著中央公論新社

離島へと移住を決めた芳朗と蕗子、そして夫妻の友人・野呂。人生の終盤で実現した 共同生活の滑り出しは順調に見えるが、3人はそれぞれ不穏な秘密を抱えていて…。 ミステリアスな長編小説。 2023:3./ 379p 978-4-12-207334-0

¥858〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/06、読売新聞 2023/05/14



## 「イクメン」を疑え!(集英社新書 1161)

関口 洋平 著

集英社

日米の保育事情を比較しつつ、映画やビジネス書にひそむ「イクメン」の文化的イメージを分析。新進気鋭のアメリカ研究者が、「イクメン」ブームから **10** 年以上経った今、その意味を問いなおす。

2023:4./ 220p 978-4-08-721261-7 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2023/05/06、日本経済新聞 2023/05/20



## おうち性教育はじめます〜一番やさしい!防犯・SEX・命の伝え方〜(MF comic essay)

フクチ マミ/村瀬 幸浩 著

KADOKAWA

主に 3~10 歳の子どもを持つ家庭向けの性教育の本。「うちにも赤ちゃんはくる?」といった素朴な質問への答え方から、性犯罪の被害者・加害者にならないための日々の言葉かけ、思春期の心と体の変化まで、マンガで説明する。

2020:3./ 199p 978-4-04-064517-9 ¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2023/05/13



### マンガでわかる LGBTQ+

パレットーク/ケイカ 著

講談社

イマサラ聞けない LGBTQ+のギモンに答える入門書。さまざまな性のあり方、カミングアウト、男らしさ・女らしさ、法律などについてマンガと文章で解説します。書き込み式のワークあり。

2021:4./ 175p 978-4-06-522492-2 ¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2023/05/13



### エンドロール(講談社文庫 し 122-3)

潮谷 験 著

講談社

202X 年、若者の自殺が急増。早世したベストセラー作家・雨宮桜倉を姉に持つ雨宮葉は、姉の遺作が自殺する若者を肯定していると受け止められているという思いから、自殺を阻止しようとするが...。

朝日新聞 2023/05/13

2023:4./ 348p 978-4-06-531487-6 ¥792〔稅込〕





### 地の糧 新版(新潮文庫 シ-2-5)

アンドレ・ジッド 著

新潮社

語り手は、青年に語りかける。「善か悪か懸念せずに愛すること」「賢者とはよろずのことに驚嘆する人を言う」と-。欲望を肯定し情熱的に生きることを賛美したジッドによる思想書。

2023:4./ 215p 978-4-10-204514-5 ¥605〔税込〕



朝日新聞 2023/05/13



## 悪魔はいつもそこに(新潮文庫 ホ-24-1)

ドナルド・レイ・ポロック 著

新潮社

オハイオ州南部の田舎町。病弱な母親の死後、父親も自殺し、祖母に引き取られたアーヴィン。家族を守ろうと懸命にもがく彼の運命は、牧師、殺人鬼夫婦、悪徳保安官らの思惑と絡み合い…。 NETFLIX オリジナル映画の原作。

2023:5./ 457p 978-4-10-240291-7



¥990〔稅込〕

朝日新聞 2023/05/13



### アリバイの唄~夜明日出夫の事件簿~(徳間文庫 トクマの特選! さ 1-134)

笹沢左保 著

徳間書店

生前被害者を乗せたのが縁で、初恋の人に再会したタクシードライバー・夜明日出 夫。300 キロ離れた遠隔地での不可解な殺人事件の容疑者とされた彼女を救うべく、 元警視庁捜査一課の刑事であった彼は調査に乗り出し...。 2023:4./ 339p 978-4-19-894847-4 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2023/05/13



### カティンの森のヤニナ〜独ソ戦の闇に消えた女性飛行士〜

小林 文乃 著

河出書房新社

独ソ戦最大の謎とされた虐殺事件には、たったひとり女性の犠牲者がいた。その死は やがて、国家の思惑の渦にのまれてゆく-。ポーランドという国家と一人の女性、そ してその一族の運命が重なり合う歴史紀行ノンフィクション。 2023:3./ 236p 978-4-309-03097-5 ¥2,552〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/13



### ヘルジャパンを女が自由に楽しく生き延びる方法(幻冬舎文庫 あ-57-6)

アルテイシア 著

幻冬舎

男と女、どっちがつらい? 男も女も繊細でいいし、傷ついていい。不毛な争いはやめて、みんなでジェンダーの呪いを滅ぼそう! 爆笑フェミエッセイ。せやろがいおじさんとの対談も収録。

2023:2./ 308p 978-4-344-43267-3 ¥781〔税込〕



朝日新聞 2023/05/13



### 主権者を疑う〜統治の主役は誰なのか?〜(ちくま新書 1720)

駒村 圭吾 著

筑摩書房

改憲ムーブメントで連呼された「主権者たる国民」。主権とは何で、主権者とは誰なのか。神の至高性に由来し、恐怖と期待が入り混じるこの"取り扱い注意"の概念を掘り下げ、新たなトリセツを提示する。

2023:4./ 283p,11p 978-4-480-07546-8 ¥1,012〔税込〕



朝日新聞 2023/05/13



## 議員の両性同数~パリテの現在地~(文庫クセジュ 1058)

レジャーヌ・セナック 著

白水社

女男平等の政治参画を義務付けるフランスの「パリテ法」。パリテはどのように根付き適用されているのか。「パリテ法」を世界各地でとられた女性の政治的過小代表を補う戦略の延長線上に位置づけ、その意義を捉える。

2023:5./ 152p,10p 978-4-560-51058-2 ¥1,320〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/13



### 内角のわたし

伊藤朱里 著

双葉社

歯科助手アルバイトの森。彼女の中で3人の「わたし」の意識が、めまぐるしく移ろい、相反する内側の声に引き裂かれ、ゲームの世界に逃げ込むのが常だった。ある日、同じゲームをしている職場の新人と友達になるが…。

2023:3./ 220p 978-4-575-24614-8 ¥1,815〔税込〕



朝日新聞 2023/05/13



## 電車の窓に映った自分が死んだ父に見えた日、スキンケアはじめました。

伊藤 聡著

平凡社

男がスキンケアなんて恥ずかしい…。そう思っていたアラフィフ会社員が、あれよあれよと美容沼にハマっていき…。男性美容とセルフケアをめぐる、笑いと感動の体験記。

2023:2./ 206p 978-4-582-83917-3 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2023/05/13



### 妾と愛人のフェミニズム~近・現代の一夫一婦の裏面史~

石島 亜由美 著

青弓社

妾や愛人とは一体どのような女性なのか。一夫一婦制度が確立した明治期から 2010 年代までの新聞・雑誌や文学作品を精読。時代ごとに形作られた「囲われる/働く/消費される女性たち」の社会的イメージの変遷を追う。



978-4-7872-3517-6

2023:3./ 278p

朝日新聞 2023/05/13



### 街とその不確かな壁

村上 春樹 著

新潮社

その街に行かなくてはならない。なにがあろうと-。<古い夢>が奥まった書庫でひもとかれ、呼び覚まされるように、封印された"物語"が深く静かに動きだす。魂を揺さぶる書下ろし長編。

2023:4./ 661p 978-4-10-353437-2 ¥2,970〔税込〕



朝日新聞 2023/05/13、東京・中日新聞 2023/05/14



### 芝居のある風景

矢野 誠一著

白水社

作品から連想された個人体験による心情を綴った演劇評。演劇作品にまつわる多彩なエピソードを織り交ぜながら、静かで深い感動をもたらす景色を新たに描き出す、東京人による「東京物語」。『都民劇場』連載を単行本化。

2023:3./ 214p 978-4-560-09493-8 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2023/05/13、東京・中日新聞 2023/05/14



### こころを旅する数学~直観と好奇心がひらく秘密の世界~

ダヴィッド・ベシス 著

晶文社

たくさんの生徒が苦手意識をもつ数学。しかし数学は「学ぶ」ものではなく「やる」 ものである。歴史上の偉大な数学者たちのさまざまなエピソードをひも解きながら、 学校では教わらない、もうひとつの世界の見方を伝える。 2023:3./ 449p 978-4-7949-7358-0 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2023/05/13、読売新聞 2023/05/28



### 毒の水~PFAS 汚染に立ち向かったある弁護士の 20 年~

ロバート・ビロット 著

花伝社

一度体内に取り込まれると消えることなく蓄積し、がんや潰瘍性大腸炎などの原因となる PFAS(有機フッ素化合物)。長年隠されてきた事実を暴き、巨大企業を告発した 一人の弁護士の、人生を賭けた壮絶な闘いの記録。 2023:4./ 417p 978-4-7634-2056-5 ¥2,750〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/13、日本経済新聞 2023/05/13



### 抵抗の新聞人 桐生悠々(岩波現代文庫 社会 327)

井出 孫六 著

岩波書店

明治末から日米開戦前夜に至るまで、反戦と不正追及の姿勢を貫き、ジャーナリズム 史上に屹立する桐生悠々。若き日には文学を志し、こよなく酒を愛した 68 年の生涯 を時代の変転のなかに描き切る。青木理による解説付き。

朝日新聞 2023/05/20

2021:9./ 4p,281p 978-4-00-603327-9

¥1,232〔稅込〕





### いくさの底(角川文庫 こ 36-3)

古処 誠二 著

#### **KADOKAWA**

第二次世界大戦中期、戡定後のビルマの村に警備隊として配属された賀川少尉一隊。 だが、駐屯当日の夜、少尉が殺される。私怨か、内紛か-疑心暗鬼に陥り、村は分断 を余儀なくされていき…。 2020:1./ 228p 978-4-04-108399-4

¥968〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/20



### 野中広務 差別と権力(講談社文庫)

魚住 昭 著

講談社

権謀術数を駆使する老獪な政治家として畏怖された男、野中広務。だが、政敵を容赦なく叩き潰す冷酷さの反面、彼には弱者への限りなく優しいまなざしがあった。出自による不当な差別と闘いつづけ、頂点を目前に挫折した軌跡をたどる講談社ノンフィクション賞受賞作。

2006:5./ 448p 978-4-06-275390-6 ¥836〔税込〕



朝日新聞 2023/05/20



#### 国商〜最後のフィクサー葛西敬之〜

森功著

講談社

国鉄分割民営化で革マルと手を組み、右派・日本会議の黒幕として安倍晋三を裏で操った JR 東海の「総帥」葛西敬之。巨大広告主ゆえに週刊誌ですら触れられなかった、その知られざる素顔に迫る。

2022:12./ 313p 978-4-06-524127-1 ¥1.980〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/20



## からだの錯覚〜脳と感覚が作り出す不思議な世界〜(ブルーバックス B-2228)

小鷹 研理 著

講談社

目の前の人の手と自分の手が入れ替わる、ペンと自分の指がつながるといった「からだの錯覚」の研究から見えてきた、脳、五感、からだが相互に反応し合うしくみ、人に備わった認知システムに迫る。

2023:4./ 253p 978-4-06-531623-8 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2023/05/20



### 描かれた「故郷」〜日本統治期における台湾美術の研究〜

邱 函妮 著

東京大学出版会

美術における「台湾」の概念とその表象の成立について考察。日本帝国が植民地に導入した「美術」の制度と概念などを検討し、近代台湾人が創り出した「故郷」の表象に現れたアイデンティティの葛藤と相克の過程を明らかにする。

朝日新聞 2023/05/20

2023:3./ 6p,326p,12p 978-4-13-086065-9 ¥10,450〔税込〕





### 藩邸差配役日日控

砂原 浩太朗 著

文藝春秋

江戸藩邸のなんでも屋と揶揄される差配役・里村五郎兵衛のもとには日々、大小問わず厄介事が持ち込まれる。そんななか、若君が消えたとの報が。すぐさま探索に向かおうとする里村だったが…。『オール讀物』掲載を単行本化。

2023:4./ 250p 978-4-16-391689-7

¥1,925〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/20



## 私戦(河出文庫 ほ 9-1)

本田 靖春 著河出書房新社

1968年、暴力団員を射殺し、寸又峡温泉の旅館で人質をとって篭城した劇場型犯罪・金嬉老事件の実像を描く。全ての人間が人間らしく生きることを希求し続けたジャーナリストによるノンフィクション。

2012:9./ 394p 978-4-309-41173-6 ¥1,210〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/20



### NOVA<2023 年夏号>(河出文庫 お 20-16)

大森 望 編

河出書房新社

SF を中心に書き下ろしの新作短編を集めたオリジナル・アンソロジー。2023 年夏号は、高山羽根子「セミの鳴く五月の部屋」、斜線堂有紀「ヒュブリスの船」など、女性作家のみによる全 13 編を収録。

2023:4./ 540p 978-4-309-41958-9 ¥1,320〔税込〕



朝日新聞 2023/05/20



### ヴァケーション(光文社文庫 異形コレクション い 31-45 55)

光文社

<ヴァケーション>をテーマにした<異形コレクション>オリジナル・アンソロジー。 宇佐美まこと「田休み」、新名智「今頃、わが家では」、斜線堂有紀「デウス・エク ス・セラピー」など全 15 篇を収録。 2023:5./ 604p 978-4-334-79534-4 ¥1,210〔税込〕



朝日新聞 2023/05/20



### へーゼルの密書~The Peace Feelers~

上田 早夕里 著

光文社

激化する日中の対立関係。新たな大戦へと着実に向かう中、それでも戦争を回避すべく、日中和平工作にすべてをかけた人々がいた…。幻の和平交渉に光を当てた長編歴 史小説。『小説宝石』連載を単行本化。 2021:1./ 322p



朝日新聞 2023/05/20



### はるか、ブレーメン

重松 清 著 幻冬舎

母に捨てられ、育ての親である祖母も亡くしひとりぼっちになった遙香は、人生の最後に走馬灯を描く旅をアテンドする仕事を手伝うことに。そんな折、母から「会いたい」と連絡が来て…。『大阪日日新聞』等掲載に加筆修正。

2023:4./ 421p 978-4-344-04096-0 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2023/05/20



## 変わる日本語、それでも変わらない日本語〜NHK 調査でわかった日本語のいま〜(基礎から身につく「大人の教養」)

塩田 雄大 著 世界文化社

「週末」と言ったとき、金曜日は含まれるのか。カレー好きを「辛党」と言っていいのか。調査データに基づき、"本当に使われている日本語"を読み解く。グラフを多数掲載。

2023:3./ 255p 978-4-418-23206-2 ¥1,870〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/20



## 増えるものたちの進化生物学(ちくまプリマー新書 423)

市橋 伯一著

筑摩書房

なぜ生きていると悩みが多いのか-。生命と非生命をわける「増えて遺伝する能力」は生物を進化させ、人間に自由と生きる喜びを与えた一方で、不安や迷いを植え付けた。生の悩みから生命の起源と未来を見つめる知的問答の書。

2023:4./ 184p 978-4-480-68446-2 ¥880〔税込〕



朝日新聞 2023/05/20



### 上海灯蛾

上田早夕里 著

双葉社

1934年上海。成功を夢見る日本人青年・吾郷次郎は、謎めいた女が持ち込んだ阿片と芥子の種をきっかけに、阿片ビジネスへ引き摺り込まれてしまう。やがて、第二次上海事変が勃発し…。『小説推理』連載に加筆・修正。

2023:3./ 537p 978-4-575-24602-5 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2023/05/20



### 破滅の王(双葉文庫 う-17-01)

上田 早夕里 著

双葉社

1943年、上海。細菌学の研究者・宮本は日本総領事館から重要機密文書の精査を依頼される。それは治療法皆無の細菌兵器の詳細の一部で…。最終兵器を巡る男たちの暗くて熱い戦いを描く。

朝日新聞 2023/05/20

2019:11./ 520p 978-4-575-52281-5

¥880〔税込〕





### 斬新 THE どんでん返し(双葉文庫 あ-39-07)

芦沢 央/阿津川辰海/伊吹亜門/斜線堂有紀/白井智之 著 双葉社

アイドルグループに所属する主人公の企みを描いた、芦沢央「踏み台」など全5編を 収録。斬新なアイデアでミステリー界を騒がせる人気作家によるアンソロジー。『小 説推理』掲載を文庫化。

2023:4./ 260p 978-4-575-52657-8

¥726〔税込〕



朝日新聞 2023/05/20



## お探し物は図書室まで(ポプラ文庫 あ 14-1)

青山 美智子著 ポプラ社

仕事や人生に行き詰まりを感じている 5 人が訪れた、町の小さな図書室。不愛想だけ ど聞き上手な司書さんが、思いもよらない選書と可愛い付録で人生を後押ししてくれ て...。明日への活力と希望が満ちてくる物語。

2023:3./ 325p 978-4-591-17601-6 ¥814〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/20



### クリエイティブであれ〜新しい文化産業とジェンダー〜

アンジェラ・マクロビ— 著

花伝社

劣悪な労働環境を甘受し、マルチタスク化に対応するクリエイティブな世界の「新し いミドルクラスの女性」は、いかにして作り出されるのか。クリエイティブ経済の絶 頂期を、フェミニズムの視座から批判的に捉える。

2023:2./ 309p,30p 978-4-7634-2027-5 ¥2,420〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/20



### 水と手と目~豊井祐太(1041uuu)ピクセルアート作品集~

豊井 祐太 著

グラフィック社

詩情あふれる風景や事物を繊細なドット絵アニメーションで描き、近年のピクセルア ートの潮流に大きな影響を与えてきた豊井祐太の初作品集。これまでの年代別主要作 品、制作における考えや方法論も収録する。

2023:5./ 159p 978-4-7661-3746-0 ¥2.530〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/20



### 女性ジャズミュージシャンの社会学~音楽性・女性性・周縁化~

マリー・ビュスカート 著

青土社

「女性らしい」音楽的役割へと疎外される女性ジャズシンガーたち。ジャズの世界に 潜むジェンダーに基づいた音楽的な役割の棲み分けと、「ガラスの天井」の問題の交 差した、フランスのジャズ界での差別の構造を明らかにする。

¥2,860〔稅込〕

2023:4./ 280p,8p

978-4-7917-7543-9



朝日新聞 2023/05/20



### 山上徹也と日本の「失われた30年|

五野井 郁夫/池田 香代子 著 集英社インターナショナル

山上徹也のものとされるツイートを精査し見えてくるのは、宗教 2 世の逆襲という表層的な理解にとどまらず、ロスジェネと呼ばれる世代の絶望感、悲壮感であった。彼の悲痛な叫びから、この 30 年の現代日本の問題をあぶり出す。

2023:3./ 174p 978-4-7976-7427-9 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2023/05/20



## まめで四角でやわらかで<上>(torch comics)

ウルバノヴィチ香苗 著 リイド社

かつての東京を生きた人々のささやかだけど豊かな暮らしを、気鋭の作家がみずみず しい筆致で描く珠玉の連作短編集。市井の生活を丁寧に写し取った愛すべき十五編に 加え、描き下ろしコラムとおまけ漫画も沢山収録! 2023:4./ 156p 978-4-8458-6155-2 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2023/05/20



### 言語沼~言語オタクが友だちに 700 日間語り続けて引きずり込んだ~

堀元見/水野太貴 著

あさ出版

言語オタクの水野が、言語学の素人を言語沼に引きずり込む! 「やまかわ」と「やまがわ」の違い、「ヘリコプターで山を登った」は変? 知っているようで知らない言語にまつわる話を、2人の会話でゆるく楽しく紹介します。

2023:4./ 207p 978-4-86667-380-6 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2023/05/20



## ジュール・ヴェルヌ<驚異の旅>コレクション<3> エクトール・セルヴァダック

ジュール・ヴェルヌ 著 インスクリプト

<驚異の旅>シリーズから傑作を選りすぐり、初版時の挿画を全収録したコレクション。3は、宇宙のパラレルワールドで展開される奇想天外な太陽系漂流記「エクトール・セルヴァダック」の完訳を収録する。

2023:4./ 508p 978-4-900997-85-1 ¥5,720〔税込〕



朝日新聞 2023/05/20



#### 小説日本の長い一日

本郷矢吹 著

日販アイ・ピー・エス

2022 年 7 月、元総理が 1 発の銃弾に倒れた! 事件の裏で何が起き、警察は、さまざまな関係者はどう動いていたのか? 公安・警備部門で活動した著者が、非現実の中に現実を織り込んだ衝撃のフィクション小説。

朝日新聞 2023/05/20

2023:3./ 351p 978-4-910825-10-6 ¥1,760〔税込〕





### チェコスロヴァキア軍団と日本~1918-1920~

長與 進著

教育評論社

日本のシベリア出兵の大義名分として掲げられた「チェコスロヴァキア軍団の救出」。日本は武器支援をし、負傷兵を救出した。日本と「チェコスロヴァキア」の関係とはどういうものなのか、知られざる2つの国の交流史を描く。

2023:3./ 287p 978-4-86624-077-0 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2023/05/20、産経新聞 2023/05/21



### 敵前の森で

古処 誠二 著双葉社

戦後まもなく、インパール作戦の日本人指揮官・北原に、捕虜の処刑と、民間人に対する虐待の嫌疑がかけられた。語学将校の英人大尉は、腹を探るような尋問を続けるが…。『小説推理』連載に加筆、訂正。

2023:4./ 221p 978-4-575-24620-9 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2023/05/20、日本経済新聞 2023/05/27



### ガブリエル・ガルシア=マルケス ある人生

ジェラルド・マーティン 著

岩波書店

ラテンアメリカ文学の巨星、ガブリエル・ガルシア=マルケスの生涯に迫った評伝。 幼年時代やジャーナリストとしての活躍、政治家や文学者との交流、ノーベル賞受 賞、飽くことなく続けられた創作活動まで圧倒的な人生をたどる。 2023:3./ 31p,726p,7p 978-4-00-061588-4

¥10,780〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/26



### 白鶴亮翅

多和田葉子 著朝日新聞出版

ベルリンで一人暮らしをする美砂は、隣人 M さんに誘われて太極拳学校へ。ロシア 人富豪や英語教師と共に、右腕を力強く上げる技「白鶴亮翅」を習う。そして世界の 名作を女性の視点から読み直し…。『朝日新聞』連載を加筆修正。 2023:5./ 276p 978-4-02-251904-7 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2023/05/26



#### 風配図~WIND ROSE~

皆川 博子 著河出書房新社

12世紀。少女ヘルガは強いられた結婚から逃れ、交易商を志すが…。バルト海交易で栄える三都市を舞台に、不条理と動乱の中、自らの道を求め生きる少女たちを詩歌や戯曲形式も交えて描く。『文藝』連載を加筆修正。

朝日新聞 2023/05/26、東京・中日新聞 2023/05/28

2023:5./ 277p 978-4-309-03108-8 ¥2,398〔税込〕





### 硫黄島に眠る戦没者~見捨てられた兵士たちの戦後史~

栗原 俊雄 著

岩波書店

アジア・太平洋戦争屈指の激戦地、硫黄島には、兵士や元島民たちの遺骨 1 万体以上が放置されている。国家によって死地に追いやられた人々が死後もなお見捨てられる日本の「戦後」を問い直す。

2023:3./ 12p,215p 978-4-00-061587-7

¥2,420〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/27



## 人口革命~アフリカ化する人類~

平野克己 著

朝日新聞出版

ほとんどの国が今世紀中に人口減少局面を迎えるなか、最も貧しい地域であるアフリカでのみ人口が増え続ける-。アフリカニストが、アフリカが **21** 世紀の主役となる "人類アフリカ化"の世界を解説する。

2022:7./ 227p 978-4-02-251832-3 ¥2,310〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



## 人口減少社会という希望~コミュニティ経済の生成と地球倫理~(朝日選書 899)

広井 良典 著

朝日新聞出版

日本が直面しつつある「人口減少」問題は、悲観すべき事態ではなく、希望ある転換点、真に幸せを感じられる社会への入り口ではないか-。日本が実現していくべき社会像とその具体的イメージを大胆に提示する。

2013:4./ 270p 978-4-02-263001-8 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27

### 人口から読む日本の歴史(講談社学術文庫)

鬼頭 宏 著

講談社

増加と停滞を繰り返す、4つの大きな波を示しつつ、1万年にわたり増え続けた日本の人口。そのダイナミズムを歴史人口学によって分析し、また人々の暮らしの変容と人生をいきいきと描き出す。

2000:5./ 283p 978-4-06-159430-2 ¥1,078〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



### 日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか(講談社現代新書)

内山 節 著

講談社

かつてはキツネにだまされたという話をよく聞いた。転機は 1965 年。そのとき私たちの精神世界にどんな変化が起き、何を失ったのか。森を歩き山里に暮らす哲学者が日本各地で得た証言から、「みえなくなった」歴史を探る。

9 7 8 4 0 6 2

2007:11./ 178p 978-4-06-287918-7 ¥902〔税込〕

朝日新聞 2023/05/27



### トマト

荒井 真紀 著

小学館

小さな種から芽を出したトマトは、葉をたくさんつけながら、どんどん大きくなっていきます。やがて花が咲き、実がなって…。トマトの成長の過程を美しいイラストで追う。いろんな種類のトマトやトマト料理も紹介。

2023:4./ 31p 978-4-09-725221-4 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



## ステージ 4 の緩和ケア医が実践するがんを悪化させない試み(新潮選書)

山崎 章郎 著

新潮社

抗がん剤治療一択でいいのだろうか-。大腸がんを宣告された緩和ケア医が、普段どおりに生きたいと願って選んだ方法とは。標準治療をいったん止め、自ら実験台となってたどりついた、既存の療法を組み合わせた試みを紹介する。

2022:6./ 191p 978-4-10-603883-9 ¥1,485〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



## 織田一~丹羽五郎左長秀の記~(光文社文庫 光文社時代小説文庫 さ 41-1)

佐々木功 著

光文社

本能寺が燃えおち、織田家中の誰もが右往左往するなか、「織田一の男」と謳われた 丹羽長秀は何を思い何を為すのか? 「信長公記」の著者、太田牛一の視点から描いた 戦国秘史。 2023:4./ 356p 978-4-334-79524-5

¥792〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



## 事実はどこにあるのか $\sim$ 民主主義を運営するためのニュースの見方 $\sim$ (幻冬舎新書 さ-26-1)

澤康臣著

幻冬舎

権力者に都合の悪い事実は隠され SNS 上にはデマや誤情報が氾濫する。事実はどこにあるのか? ジャーナリズムのあり方を現場の声をふまえてリアルに解説。ニュースの見方が深まり、重要な情報を見極められるようになる一冊。

2023:3./ 307p 978-4-344-98689-3 ¥1,100〔稅込〕



朝日新聞 2023/05/27



### 神保町に銀漢亭があったころ

堀切克洋 編

星雲社

2003年5月に開店し、2020年5月に閉店した神田神保町の酒場「銀漢亭」。俳句を愛する人たちが集った酒場の閉鎖にともない、その思い出をリレー形式で纏める。

朝日新聞 2023/05/27

2023:3./ 367p 978-4-434-31254-0





### ことばのくすり~感性を磨き、不安を和らげる33篇~

稲葉俊郎 著

大和書房

「歩くこと」も「食べること」も、実はスゴイこと-。医療と芸術の最前線にいる著者が、日常に潜む奇跡を鮮やかに照らしだした医療&芸術エッセイ。日常を見る目が変わる全 33 篇を収録する。

2023:4./ 206p 978-4-479-01229-0 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



## 自衛隊海外派遣(ちくま新書 1726)

加藤 博章 著

筑摩書房

緊迫する国際情勢に対し、日本の自衛隊は何ができ、何ができないのか。日本が国際 社会といかに向き合おうとしたのかを自衛隊海外派遣を通じて論じ、日本のとるべき 道を考える。 2023:5./ 250p 978-4-480-07556-7

¥946〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



### 刀と傘(創元推理文庫 M い 15-1)

伊吹 亜門 著

東京創元社

慶応3年。幕末の京都で若き尾張藩士・鹿野師光は、後に初代司法卿となる江藤新平と邂逅する。2人の前には、時代の転換点ゆえに起きる事件が次々に待ち受けて...。 連作時代本格推理。 2023:4./ 303p 978-4-488-48121-6 ¥814〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



### 世界資源エネルギー入門~主要国の基本戦略と未来地図~

平田 竹男 著

東洋経済新報社

世界の資源エネルギー戦略の全体像を俯瞰する入門書。エネルギー戦略の基本的視座を説明し、脱ロシアに急ぐ欧州、シェール革命、中国のエネルギー戦略、再エネ対応など、各国の状況を解説する。早稲田大学の講義を基に書籍化。

2023:5./ 395p 978-4-492-44472-6 ¥3,740〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



## 新しい権威主義の時代〜ストロングマンはいかにして民主主義を破壊するか 〜<上>

ルース・ベン=ギアット 著

原書房

ムッソリーニ、ヒトラー、フランコ、カダフィ、そしてプーチン、トランプへ。強権的な国家元首「ストロングマン」はどのように現れ、権威主義化を推し進めたのか。彼らが個々人や社会に与える破滅的な影響について考える。

朝日新聞 2023/05/27

2023:3./ 227p,33p 978-4-562-07267-5 ¥2,310〔税込〕





## 新しい権威主義の時代~ストロングマンはいかにして民主主義を破壊するか ~<下>

ルース・ベン=ギアット 著

原書房

ムッソリーニ、ヒトラー、フランコ、カダフィ、そしてプーチン、トランプへ。強権 的な国家元首「ストロングマン」はどのように現れ、権威主義化を推し進めたのか。 彼らが個々人や社会に与える破滅的な影響について考える。 2023:3./ 199p,49p 978-4-562-07268-2 ¥2,310〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



### ベアトリスの予言

ケイト・ディカミロ 著

評論社

記憶をなくして修道院のヤギ小屋に倒れていたベアトリス。はたして彼女は偉大なる 予言書に書かれた少女なのか?限られた人しか読み書きが許されなかった時代に「言葉」で運命を切り開いていく少女と仲間たちの絆を描く物語。 2023:4./ 303p 978-4-566-01461-9 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



## 迷えるウクライナ〜宗教をめぐるロシアとのもう一つの戦い〜(扶桑社新書 466)

高橋沙奈美 著

扶桑社

ウクライナとロシアの絡み合った関係を、キリスト教東方正教を立脚点として解説。 西洋のキリスト教とは異なる東方正教会の教えや歴史をも概観することで、日本の報 道だけでは知りえない世界の新たなとらえ方を提示する。 2023:4./ 287p 978-4-594-09316-7 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



### 我、過てり(ハルキ文庫 時代小説文庫 に 12-1)

仁木 英之 著

角川春樹事務所

信玄に三連勝した村上義清、東北最大勢力になった伊達政宗…。強大な敵を前に、一度は勝利を摑んだはずの彼らは、いったいどこで選択を誤ったのか。そしてそこからの決死の挽回術とは。教訓が満載の歴史短編小説集。

2023:5./ 267p 978-4-7584-4565-8 ¥880〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



## ピクルスとともだち(福音館創作童話シリーズ)

小風さち 著

福音館書店

ピクルスは、小学生のこぶたです。春休み、ピクルスは同じ年ごろのこぶたが近所にひっこしてきたことを知って…。「ピクルスと春の大風」をはじめ、全4話を収録。 ピクルスの本第3弾。

朝日新聞 2023/05/27

2023:5./ 116p 978-4-8340-8714-7 ¥1,870〔税込〕





### 香港絶望のパサージュから語りの回廊へ~2019 レジスタンスダイアリー~

日本語版「消えたレノンウォール」翻訳委員会 編 集広舎

2019年の逃亡犯条例改正案反対運動において、壁に付箋紙を貼るというレノンウォールが 100 カ所以上出現した香港。民主化を求める非暴力デモが、全市民闘争の規模へと拡大した足跡を、多数の写真や図版とともに記録する。

2023:4./ 419p 978-4-86735-036-2 ¥3,999〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



## フリーダム~香港人の自由はいかにして奪われたか、それをどう取り戻すか

羅冠聡(ネイサン・ロー)/方禮倫(エヴァン・ファウラー) 著 季節社

アジアで最もリベラルでオープンだった国際都市は、どういう経緯で根底から変わってしまったのか。雨傘運動の学生リーダーで、デモシスト(香港衆志)元党首の羅冠聡が、時系列に沿って、香港に何が起きたのか伝える。

2023:4./ 255p 978-4-87369-106-0 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



### 世界は五反田から始まった(ゲンロン叢書 011)

星野博美 著

ゲンロン

祖父が残した手記。そこに綴られていたのは、家族が生きてきた土地・五反田の記録だった-。大宅壮一ノンフィクション賞作家が、五反田を襲った「もうひとつの東京大空襲」について記す。『ゲンロン  $\beta$ 』連載を加筆修正。

2022:7./ 364p 978-4-907188-45-0 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



### たぬきの本~里山から街角まで~

村田 哲郎/中村 沙絵/南 宗明/上保 利樹/萩野 (文) 賢一 著 共和国/editorial republica

古くから親しまれてきた動物、たぬき。動物園での定点観察、子だぬきの飼育、信楽たぬきの謎、たぬきのイメージの変遷など、たぬきに魅せられた 5 人が語り尽くす。 「日本たぬき学会」の新旧会長による特別対談も収録。 2023:4./ 253p 978-4-907986-30-8 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2023/05/27



### 遠きにありて、ウルは遅れるだろう(エクス・リブリス)

ペ・スア 著

白水社

存在を規定する記憶をすべて失った女性が、意識の底にある感覚を浮上させ自分が何者であるのかを夢幻的に探っていく3つの物語を描く。人間の本質を体感する、世界と自己認識の新しい文学。

東京・中日新聞 2023/05/07

2023:1./ 211p 978-4-560-09079-4 ¥2,200〔稅込〕





### 学校で育むアナキズム

池田 賢市 著

新泉社

子どもは小さなアナキスト! 社会と個人のあり方を整理したうえで、権力支配の確立 という観点から学校教育の問題点を提示し、アナキズムの視点で学校教育がどのよう に変わりうるのかを考える。

2023:4./ 246p 978-4-7877-2211-9 ¥2,200〔税込〕



東京・中日新聞 2023/05/07



## 原爆写真を追う~東方社カメラマン林重男とヒロシマ・ナガサキ~

林 重男/井上 祐子 著

図書出版みぎわ

被爆から2カ月後の広島・長崎の惨状を撮影したカメラマン林重男。写真撮影現場の 様子、原爆被害の凄まじさと非人道性を伝える著作「爆心地ヒロシマに入る」と、彼 の歩んだ道と業績を歴史的背景も交えて紹介する小伝を収録。

2023:4./307p 978-4-911029-01-5 ¥2,860〔稅込〕



東京・中日新聞 2023/05/07



### 装幀余話

菊地信義 著

作品社

生きていることのすべてが装幀の素材になっていた-。15000点余の本を手がけた、 稀代の装幀者が、本と装幀への思いを語り下ろす。2014年に行われた展覧会での講 演、インタビュー、単行本未収録のエッセイなどを収録。

2023:3./309p 978-4-86182-960-4 ¥2,970〔税込〕



東京・中日新聞 2023/05/14



### 「日本左翼史」に挑む〜私の日本共産党論〜

大塚茂樹 著

あけび書房

左翼に再生の道筋はあるのか。元岩波書店の敏腕編集者が、豊富な知識と自らの体験 に基づいて思索。池上彰、佐藤優「日本左翼史」三部作の読み込みを背景によみがえ る戦後史の一断面。

2023:3./ 270p 978-4-87154-229-6 ¥1,980〔稅込〕



東京・中日新聞 2023/05/14



### コメンテーター

奥田 英朗 著

文藝春秋

ワイドショーに出演することになった精神科医・伊良部とマユミ。放送事故寸前のコ メントを連発するが、それは暴言か、はたまた金言か!? トンデモ精神科、復活! 表題 作など全5編を収録する。『オール讀物』掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2023/05/20

2023:5./ 271p 978-4-16-391687-3

¥1,760〔稅込〕





### 教育勅語と御真影〜近代天皇制と教育〜(講談社現代新書 2701)

小野 雅章 著

講談社

「教育勅語」と「御真影」が当初の目的を逸脱し、絶対視されてゆく戦前の過程をた どる。また、敗戦により無効と公的に宣言された「教育勅語」が、既成事実の積み重 ねにより復権を果たしてゆく戦後の過程も客観的に叙述する。 2023:4./ 332p 978-4-06-531760-0 ¥1,320〔税込〕



東京・中日新聞 2023/05/21



## 江戸の芸者〜近代女優の原像〜(集英社新書 1155)

赤坂 治績 著

集英社

幕府が女性の舞台出演を禁じた江戸時代にも、踊る女、演じる女は人気だった! 出雲のお国、そのかぶき踊りを模倣した遊女歌舞伎、踊子、芸者…。知られざる女性芸能の成立と盛衰を描く。

2023:3./ 222p 978-4-08-721255-6 ¥1,012〔税込〕



東京・中日新聞 2023/05/21



### ここにあるはずだったんだけど

佐々木 愛 著

双葉社

推しの俳優が結婚発表。相手は元グラビアアイドルで、胸のサイズは E か F 。 F という記号は推しとの大切な思い出なのに。 F の存在は無職 A カップの私を悩ませ…。 「E あるいは F」など全 A 編を収録。 『小説推理』掲載を書籍化。

2023:2./ 174p 978-4-575-24606-3 ¥1,760〔税込〕



東京・中日新聞 2023/05/21



### 川端康成〜孤独を駆ける〜(岩波新書 新赤版 1968)

十重田 裕一 著

岩波書店

孤独の精神を源泉に、他者とのつながりをもたらすメディアへの関心を生涯にわたって持ち続けた川端康成。メディアの状況が劇的に変化していく時代のなかを、旺盛な 創作活動のもとに駆け抜けていった作家の軌跡を活写する。 2023:3./ 6p,256p,22p 978-4-00-431968-9

¥1,166〔稅込〕



東京・中日新聞 2023/05/28



#### 資本主義の次に来る世界

ジェイソン・ヒッケル 著

東洋経済新報社

人類や地球に不幸と破滅をもたらさない「成長に依存しない次なるシステム」とは何か?経済人類学者が、「アニミズム対二元論」という視点から文明を読み解き次なる社会を描く、かつてない文明論・未来論。

東京・中日新聞 2023/05/28

2023:5./ 296p,28p 978-4-492-31549-1

¥2,640〔税込〕





### 聴こえない母に訊きにいく

五十嵐 大 著

柏書房

「優生保護法」。障害者が生まれることを防止し、女性が産むことを管理しようとした悪法が存在した時代、母はどのように生き、ぼくはどのようにして生まれたのか。 コーダである息子が未来に進むために描く、小さな家族の歴史。 2023:4./ 213p 978-4-7601-5512-5 ¥1,870〔税込〕



東京・中日新聞 2023/05/28



### 3.11 大津波の対策を邪魔した男たち

島崎 著

青志社

きちんと対策すれば、福島原発の事故は防げ、多くの人たちが助かった。しかし東京電力と国は対策をとらなかった。いったい、何があったのか。なぜ、そうなったのか-。内部から大津波地震を警告した地震学者が告発する。

2023:3./ 243p 978-4-86590-154-2 ¥1,540〔稅込〕



東京・中日新聞 2023/05/28



### 愛媛県新居浜市上原一丁目三番地

鴻上 尚史 著

講談社

少年時代を過ごした愛媛県新居浜市の家、劇団を立ち上げた早稲田大学大隈講堂裏。 かけがえのない場所を通して描く初の自伝的小説集。『群像』掲載に大幅に書き下ろ しを加えて単行本化。 2023:3./ 283p 978-4-06-530291-0 ¥2,090〔税込〕



東京・中日新聞 2023/05/28、読売新聞 2023/05/28



### 排除の現象学(岩波現代文庫 学術 462)

赤坂 憲雄 著

岩波書店

いじめ、ホームレス殺害、宗教集団への批判、障害者施設設置反対運動、通り魔、超常現象への傾斜…。1980年代に世間を賑わせた数々の事件から、異人が見出され生贄とされる、共同体の暴力を読み解く。

2023:3./ 6p,359p 978-4-00-600462-0 ¥1,760〔稅込〕



読売新聞 2023/05/07



### スマホはどこまで脳を壊すか(朝日新書 897)

榊浩平 著

朝日新聞出版

スマホを常用し、脳にラクをさせていると、子どもの脳発達が損なわれる!生活の一部となったインターネットの使用習慣=オンライン習慣がもつリスクを、科学的・医学的な根拠となる研究結果とともに解説。解決策も提示する。

読売新聞 2023/05/07

2023:2./ 254p 978-4-02-295203-5 ¥935〔税込〕





### 生協の白石さん

白石 昌則 著

講談社

東京農工大生協の「ひとことカード」に寄せられる要望やユニークなメッセージに、 誠実で機知に富んだ回答をしてくれる生協の白石さん。おかしくて癒される、学生と 白石さんとのコミュニケーション「ひとことカード」の傑作選。

2005:11./ 149p 978-4-06-213167-4 ¥1,047〔稅込〕



読売新聞 2023/05/07



## 福沢諭吉〜最後の蘭学者〜(講談社現代新書 現代新書 100 2699)

大久保 健晴 著

講談社

19世紀後半、西洋は近代文明のモデルである一方で、独立を阻む脅威でもあった。 この矛盾を乗り越えるために、福沢諭吉が重視したのが学問であった。「蘭学」をキ ーワードに、福沢諭吉の思想の本質に迫る。

2023:3./ 126p 978-4-06-531511-8 ¥880〔税込〕



読売新聞 2023/05/07



## 流人道中記<上>(中公文庫 あ 59-9)

浅田次郎 著

中央公論新社

姦通の罪で奉行所に切腹を言い渡されたが、それを拒んで蝦夷へ流罪となった旗本・ 青山玄蕃。ろくでなしでありながら、道中で行き会う弱き者を決して見捨てぬ心意気 があり...。

2023:2./ 411p 978-4-12-207315-9 ¥858〔稅込〕



読売新聞 2023/05/07



## 流人道中記<下>(中公文庫 あ 59-10)

浅田次郎 著

中央公論新社

流人・青山玄蕃と押送人・石川乙次郎は、奥州街道の終点、三厩を目指し歩みを進め る。旅路の果てで明らかになる、玄蕃の抱えた罪の真実。武士の鑑である男が、恥を 晒してまで生きる道を選んだのは-。

2023:2./ 342p 978-4-12-207316-6 ¥858〔稅込〕



読売新聞 2023/05/07



### BOOKS のんべえ〜お酒で味わう日本文学 32 選〜

木村 衣有子 著

文藝春秋

酔わない山本周五郎、太宰治とりんご酒、武田泰淳が助手席であける缶ビール。文学 のとなりには、いつもお酒がある...。のんべえ心に刺さるツボな選書で味わう読書エ ッセイ。『文學界』連載を加筆し書籍化。

¥1,650〔稅込〕

978-4-16-391683-5

2023:4./ 200p



読売新聞 2023/05/07



### デカメロン<上>(河出文庫 ホ 6-1)

ボッカッチョ 著

河出書房新社

ペストが猖獗を極めた 14 世紀フィレンツェ。恐怖が蔓延する市中から郊外に逃れた若い男女 10 人が、面白おかしい話で迫りくる死の影を追い払おうと、10 日のあいだ交互に語り合う 100 の物語。上は第 1 日~第 3 日を収録。

2017:3./ 555p 978-4-309-46437-4 ¥1,320〔税込〕



読売新聞 2023/05/07



## デカメロン<中>(河出文庫 ホ 6-2)

ボッカッチョ 著河出書房新社

ペストが猖獗を極めた 14 世紀フィレンツェ。恐怖が蔓延する市中から郊外に逃れた若い男女 10 人が、面白おかしい話で迫りくる死の影を追い払おうと、10 日のあいだ交互に語り合う 100 の物語。中は第 4 日~第 7 日を収録。

2017:4./ 557p 978-4-309-46439-8 ¥1,320〔税込〕



読売新聞 2023/05/07



## デカメロン<下>(河出文庫 ホ 6-3)

ボッカッチョ 著河出書房新社

ペストが猖獗を極めた 14 世紀フィレンツェ。恐怖が蔓延する市中から郊外に逃れた若い男女 10 人が、面白おかしい話で迫りくる死の影を追い払おうと、10 日のあいだ交互に語り合う 100 の物語。下は第8日~第10日を収録。

2017:5./ 533p 978-4-309-46444-2 ¥1,320〔税込〕



読売新聞 2023/05/07



## リスキリングは経営課題〜日本企業の「学びとキャリア」考〜(光文社新書 1245)

小林祐児 著

光文社

急速に取り組みが進む、知識やスキルの学び直し「リスキリング」を阻む、日本企業 特有の構造とは何か。幅広い調査データや学術知見を基に、日本企業がリスキリング を通じて生まれ変わる方法を提言する。 2023:3./ 331p 978-4-334-04652-1 ¥1,012〔税込〕



読売新聞 2023/05/07



## 井深大と盛田昭夫 仕事と人生を切り拓く力〜ソニー創業者の側近が今こそ 伝えたい〜(青春新書 INTELLIGENCE PI-666)

郡山史郎 著

青春出版社

「自分のため」だけに働くな。誰もやらないことをやれ…。ソニーをつくった井深大と盛田昭夫の名言を紹介。2人のエピソードを交えながら、彼らが教えてくれた仕事と人生を切り拓くヒントを伝える。

読売新聞 2023/05/07

2023:3./ 173p 978-4-413-04666-4 ¥1,078〔税込〕





### シン・中国人〜激変する社会と悩める若者たち〜(ちくま新書 1710)

斎藤 淳子 著

筑摩書房

待ったなしの少子化、激変する結婚・住宅事情、若者の奮闘と苦悩…。圧縮された国際化と市場化の激流の中で、中国の市井の人々、特に若者は何を思い、人生を歩むのか。ニュースの裏側の中国の「ガチの素顔」をレポートする。

2023:2./ 250p,4p 978-4-480-07538-3

¥946〔稅込〕



読売新聞 2023/05/07



## 切願~自選ミステリー短編集~(双葉文庫 な-30-04)

長岡 弘樹 著

双葉社

長岡弘樹がミステリー界の最前線で発表してきた短編小説の中から、著者が選りすぐった 5 編を収録。くわえて、未刊行だった第 25 回小説推理新人賞受賞作「真夏の車輪」を大幅に加筆修正して初収録。

2023:3./ 276p 978-4-575-52649-3

¥737〔稅込〕



読売新聞 2023/05/07



## タイポグラフィ・ブギー・バック~ぼくらの書体クロニクル~

正木 香子 著

平凡社

あの書体でなければ、あの名作は生まれなかった-。雑誌、マンガ、書籍、CD、テレビなど、さまざまなメディアの「書体」から、1990~2010年代の30年を読み解く。『ウェブ平凡』連載等に書き下ろしを加え書籍化。

2023:3./ 251p 978-4-582-83919-7 ¥2,530〔税込〕



読売新聞 2023/05/07



### アフリカではゾウが小さい〜野生動物撮影記〜

岩合 光昭 著 毎日新聞出版

写真を撮るとき、光や風、匂いを写したいと心底思う。。日本を代表する動物写真家・岩合光昭の集大成となる、オールカラーのフォト・エッセイ。野生動物図鑑も収録。著者のオフィシャルサイト掲載を書籍化。

2023:2./ 232p 978-4-620-32766-2





読売新聞 2023/05/07



## わが友、シューベルト

堀 朋平 著

アルテスパブリッシング

聴くものすべてを包み込む、あの"親しさ"はどこから来るのか-。19世紀初頭、動乱の予感をはらむ凪の時代を誰よりも疾く駈けぬけた作曲家・シューベルトの実像に肉迫し、従来のイメージを一新する。

読売新聞 2023/05/07

2023:2./ 3p,581p,50p 978-4-86559-263-4

¥6,600〔稅込〕





### 北海道の図書館員が薦めるブックガイド~わが町を知ってもらうなら!~

加藤 重男 著

中西出版

国土の 22%を占める広大な大地をもつ北海道には、地域の特色を生かしたユニークな図書館がたくさんある。アンケートを実施し、回答を得た北海道の 170 市町村の図書館お薦めの本を紹介。図書館へのインタビューなども掲載。

2023:3./ 205p 978-4-89115-418-9 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2023/05/07



## 全国駄菓子屋探訪

トゥーヴァージンズ

創業 100 年以上の老舗から令和のニューカマーまで、全国にある 29 軒の駄菓子屋にインタビュー。駄菓子の源流・メーカー、流通の要・卸問屋、歴史から未来の展望に至るまで駄菓子屋文化を写真とともに紹介する。

2023:1./ 190p 978-4-910352-39-8 ¥2,090〔税込〕



読売新聞 2023/05/07



### 三木武夫と戦後政治

竹内 桂 著

吉田書店

第 66 代内閣総理大臣、三木武夫。現実と理想の狭間で政治権力を追い求めた保守政治家の生涯を丹念にたどり、戦後日本政治において果たした役割を、政治史研究の観点から考察する。

2023:2./ 11p,761p,9p 978-4-910590-09-7 ¥8,800〔税込〕



読売新聞 2023/05/07



### リベラリズムへの不満

フランシス・フクヤマ 著

新潮社

左右両派からの攻撃を受け、リベラリズムが深刻な脅威にさらされている。多様な政治的立場を包含する「大きな傘」としてのリベラリズムの真の価値を原点に遡って解き明かし、再生への道を提示する。

2023:3./ 208p,13p 978-4-10-507321-3 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2023/05/07、日本経済新聞 2023/05/27



### 完全ドキュメント北九州監禁連続殺人事件

小野 一光 著

文藝春秋

7人はいかに洗脳され、次々と惨殺されたのか? 電気ショック、肉親殺し、遺体解体…。「北九州監禁連続殺人事件」の一部始終を 20 年にわたる取材を通して描く。 『文春オンライン』連載記事を加筆修正。 2023:2./ 575p 978-4-16-391659-0 ¥2,420〔稅込〕



読売新聞 2023/05/07、毎日新聞 2023/05/13



## 日本アニメの革新〜歴史の転換点となった変化の構造分析〜(角川新書 K-416)

氷川 竜介 著

#### **KADOKAWA**

なぜ大ヒットを連発できるのか。アニメ研究の第一人者が、日本のアニメ産業に起こった「革新」を徹底解説。「宇宙戦艦ヤマト」などの作品を取り上げ、アニメがいかにして"国民的文化"となったのかを明らかにする。

2023:3./ 258p 978-4-04-082204-4 ¥1,056〔税込〕



読売新聞 2023/05/14



### ことのは

三石琴乃 著

主婦の友社

仕事への愛と苦悩、入れ替わりの激しい世界を生き抜くために大切なこと…。「美少女戦士セーラームーン」月野うさぎ役で知られる三石琴乃が、声優ポリシーを語る。 音声メッセージが聞ける QR コード付き。 2023:4./ 204p 978-4-07-453530-9 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2023/05/14

### お父さんは心配症<1>(集英社文庫)

岡田 あ~みん 著

集英社

心配症のお父さんと暮らす典子。といってもお父さんの心配ぶりは超異常!せっかくイイ感じの B・F 北野君との仲もことごとく邪魔され続けて…。典子に幸せが訪れる日は、いつくるのでしょうか!?

1997:8./ 229p 978-4-08-617307-0 ¥660〔税込〕



読売新聞 2023/05/14



## グッド・バイ 改版(新潮文庫)

太宰 治著

新潮社

読売新聞 2023/05/14

2008:9./ 397p 978-4-10-100608-6 ¥605〔稅込〕





### 私のものではない国で

温又柔 著

中央公論新社

良き外国人? 本物の日本人? 台湾出身で<日本語に住む>著者が、<ふつう>の呪いを解き、心にあふれた宝ものに気づく散文集。後藤正文ほかとの対談、小竹由美子、藤井光との鼎談も収録する。

読売新聞 2023/05/14

9 7 8 4 1 0 1 0 0 6 0 8 6

2023:2./ 270p

978-4-12-005631-4 ¥1,870〔税込〕





### ことばとかたち~キリスト教図像学へのいざない~

西野 嘉章 著 東京大学出版会

中世から近世にわたるキリスト教美術で多く描かれた主題をとりあげ、造形美術を読み取るための基礎知識と読解の楽しみを伝える。西洋美術史学の学史、キリスト教神学への手引きとなる読書案内も収録。

2023:2./ 338p 978-4-13-080228-4 ¥8,580〔税込〕



読売新聞 2023/05/14



## 言語学バーリ・トゥード<Round1> AI は「絶対に押すなよ」を理解できるか

川添 愛 著東京大学出版会

ラッシャー木村の「こんばんは」になぜファンはズッコケたのか。AI は「絶対に押すなよ」を理解できるか。日常にある言語学の話題を、ユーモアあふれる巧みな文章で綴る。『UP』連載に書き下ろしを加え書籍化。

2021:7./ 5p,210p 978-4-13-084101-6 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2023/05/14



### 第二の性<1> 決定版 事実と神話(河出文庫 ホ 7-1)

シモーヌ・ド・ボーヴォワール 著

河出書房新社

人は女に生まれるのではない、女になるのだ-。1949年の刊行以来、世界に衝撃を与え続けるフェミニズムの画期的名著。哲学、生物学、精神分析、文学など、ジャンルを横断しながら、男に支配されてきた女性の歴史を紐解く。

2023:3./ 559p 978-4-309-46779-5 ¥1,485〔税込〕



読売新聞 2023/05/14



### 今日からぼくがクッキング~世界一!?親切かもしれないレシピ本~ 決定版

瀧知子 著

光文社

小学生でも作れる! みじん切りなし、工程少なめ、小学生の好物多めのレシピ本。電子レンジを活用した火を使わないレシピからお祝いメニュー、おやつまで、作り方を手順写真で紹介する。日付・チェック欄あり。

2023:2./ 127p 978-4-334-95362-1 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2023/05/14



### ポスト・ヨーロッパ〜共産主義後をどう生き抜くか〜

スラヴェンカ ドラクリッチ 著

人文書院

東側の人々を失望させたものは何か。民主主義への不信はどこへ向かうのか。オルバーン首相に支持が集まるのはなぜか-。共産主義終焉から 30 年を迎えた東欧の、現在の政治的・社会的問題を垣間見られる政治的ルポルタージュ。

読売新聞 2023/05/14

2023:2./ 278p 978-4-409-24151-6 ¥3,300〔税込〕





### SF 超入門~「これから何が起こるのか」を知るための教養~

冬木 糸一 著

ダイヤモンド社

仮想世界、人工知能、不死・医療、宇宙開発、地震、感染症、気候変動…。「科学読みものとして、最先端キーワードを知る」「小説として、時代を超えて読まれる」の2つの視点で56作品(シリーズ)をセレクトしたSF入門書。

2023:2./ 438p 978-4-478-10936-6 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2023/05/14



## 空芯手帳(ちくま文庫 や 62-1)

八木 詠美 著

筑摩書房

理不尽な雑用、セクハラ…。職場で「女」だからという理由でろくでもない役回りをこなす人生に嫌気がさした柴田は、偽の妊婦を演じることで、空虚な日々にささやかな変化を起こしてゆく。

2023:3./ 195p 978-4-480-43869-0

¥726〔税込〕



読売新聞 2023/05/14



## 刑事司法記録の保存と閲覧~記録公開の歴史的・学術的・社会的意義~(龍谷大学社会科学研究所叢書 第 141 巻)

石塚 伸一 著

日本評論社

刑事司法資料の保管と公開は公的機関の使命であり、市民にはその閲覧を求める権利がある。刑事確定訴訟記録の保存と閲覧、團藤重光文庫研究、最高裁大逆事件研究を 柱に、刑事司法資料の保存と閲覧の市民的権利を説く。 2023:3./ 9p,422p 978-4-535-52724-9 ¥8,250〔稅込〕



読売新聞 2023/05/14



### もこもこもこ(文研ミニブック)

谷川俊太郎 著

文研出版

「しーん」として何もない地面が、「もこもこもこ」と盛り上がって、伸びてきた「にょきにょき」を「ぱく」。そして「ぽろり」…。ことばのリズムが楽しい名作絵本のミニブック。

2023:4./ 29p 978-4-580-82581-9

¥1,320〔税込〕



読売新聞 2023/05/14



## 天下人たちの文化戦略〜科学の眼でみる桃山文化〜(歴史文化ライブラリー 566)

北野 信彦 著

吉川弘文館

信長・秀吉・家康ら天下人は、なぜ豪華絢爛な城郭御殿や特色あるデザインの美術品を作らせたのか。文化財にわずかに残る材料や技術を科学的に分析。海外交易を背景に技術力と財力を駆使した、権力者たちの文化戦略に迫る。

読売新聞 2023/05/14

2023:2./ 7p,234p 978-4-642-05966-4 ¥1,980〔稅込〕





### 牧野富太郎選集<1> 植物と心中する男

牧野富太郎 著

東京美術

人生を植物研究に捧げた"植物の父"牧野富太郎博士の選集。「植物の世界は研究すればするほど面白いことだらけです」 自伝や信条とともにユーモアたっぷりに植物を語る、博士の人柄がにじみ出た植物随筆を収録。

2023:3./ 279p 978-4-8087-1271-6 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2023/05/14



## 明治四年・久留米藩難事件

浦辺登 著

弦書房

神風連の変、西南戦争など全国的な反政府事件の前駆的な事件であったにもかかわらず、「大楽源太郎事件」「久留米藩内の内紛事件」として細分化されてきたのはなぜか。明治新政府によって闇に葬られた重大事件の全貌に迫る。

2023:2./ 213p 978-4-86329-263-5 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2023/05/14



### うどんのうーやん

岡田 よしたか 著 ブロンズ新社

うどん屋さんが人手不足のため、自分で出前にいかなければならない、うどんのうーやん。気のいいうーやんは、お腹をすかせたねこにうどんをあげたり、メザシや梅干をおつゆに入れてしまいますが…。ナンセンス・ユーモア絵本。

2012:8./ 32p 978-4-89309-550-3 ¥1,078〔税込〕



読売新聞 2023/05/14



### ラザルス~世界最強の北朝鮮ハッカー・グループ~

ジェフ・ホワイト 著

草思社

破綻国家・北朝鮮がなぜミサイルを撃ち続けられるのか?銀行ハック、身代金ウイルス、暗号資産への激烈な攻撃などにより、世界中を食い荒らしている北朝鮮ハッカー・グループ「ラザルス」の戦慄すべき実態を追う。

2023:3./ 391p 978-4-7942-2627-3 ¥2,420〔税込〕



読売新聞 2023/05/14、日本経済新聞 2023/05/20



### 負け犬の遠吠え(講談社文庫)

酒井 順子 著

講談社

嫁がず、産まず、この齢に。負け犬、今なお増殖中!日本を揺るがしたベストセラーが文庫に!どんなに美人で仕事ができても、30代以上・未婚・子ナシは「女の負け犬」なのです!鋭い分析と、ユーモア溢れる文章で、同世代の本音を描き出した超ベストセラー。

読売新聞 2023/05/21

2006:10./ 349p 978-4-06-275530-6 ¥671〔税込〕





### ユーミンの罪(講談社現代新書 2233)

酒井 順子 著

### 講談社

ユーミンの歌とは女の業の肯定である-。デビューアルバムからバブル期まで、ユーミンの時代を振り返り、女性と世の中の変化を検証する。『小説現代』連載「文学としてのユーミン」を改題、大幅に加筆して書籍化。

2013:11./ 277p 978-4-06-288233-0

¥968〔稅込〕



読売新聞 2023/05/21



## ガラスの 50 代(講談社文庫 さ 66-20)

酒井 順子 著

講談社

令和の 50 代が抱える悩みの原因は、寿命が長くなったせい。美容、体調から親、子供、仕事、趣味、セックス、老後の準備まで、「令和の 50 代」のリアルを綴った、ライフステージエッセイ。

2022:11./ 233p 978-4-06-529898-5





読売新聞 2023/05/21



### 日本エッセイ小史~人はなぜエッセイを書くのか~

酒井 順子 著

講談社

「昭和軽薄体」のブーム、芸能人エッセイの人気、高齢者エッセイの百花繚乱ぶり…。時代を彩った 160 余作品をひもときながら、エッセイストがエッセイについて縦横無尽に語り尽くす。『小説現代』連載を改題、再構成。

2023:4./ 223p 978-4-06-531006-9 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2023/05/21



### 赤泥棒

献鹿 狸太朗 著

講談社

女装をして女子トイレに侵入し、捨てられた生理用ナプキンを盗む百枝菊人。同じ学校の明石睦美は、百枝が自分と同じく、性別に違和感を抱いていると思い…。心と身体の居場所を探す高校生たちの姿を描いた短編集。

2023:3./ 317p 978-4-06-531010-6 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2023/05/21



### 坂下あたると、しじょうの宇宙(集英社文庫 ま 36-1)

町屋 良平 著

集英社

詩を書く高校生の毅は、小説の才能がある親友あたるに嫉妬していた。ある日、小説 投稿サイトにあたるの作風を模倣した AI による偽アカウントが作られ、オリジナル の面白さを超え始め…。著者と最果タヒの対談も収録。 978-4-08-744499-5 ¥770〔税込〕

2023:3./ 276p



読売新聞 2023/05/21



### 紫式部の欲望(集英社文庫 さ 21-7)

酒井 順子 著

集英社

「秘密をばらしたい」「ブスを笑いたい」「専業主婦になりたい」など、**20** の「欲望」から読み解く「源氏物語」の解説書。古典がぐっと身近になる、笑いとうなずきに満ちたエッセイ集。

2014:4./ 237p 978-4-08-745178-8 ¥528〔税込〕



読売新聞 2023/05/21



## 正倉院のしごと~宝物を守り伝える舞台裏~(中公新書 2744)

西川明彦 著

中央公論新社

紙、布、木材、金属…。放っておいたらボロボロになる宝物をいかにして守ってきたのか。1300年近くにわたり宝物を守り伝えてきた正倉院の営みを、保存・修理・調査・模造・公開に分けて紹介する。

2023:3./ 5p,204p 図版 16p 978-4-12-102744-3 ¥990〔税込〕



読売新聞 2023/05/21



## 迷い猫あずかってます(中公文庫 か 15-4)

金井美恵子 著中央公論新社

画家の姉と作家の妹が暮らす家に、迷い込んできたオスのトラ猫、トラー。その猫の 自由かつ奔放な振る舞いと、振り回される2人の人間。すぐれた観察力で猫愛の深み にもだえる日々を綴る。トラーの喪失を綴った3篇を増補。 2023:3./ 249p 978-4-12-207338-8 ¥946〔税込〕



読売新聞 2023/05/21



### ビジネスの兵法~孫子に学ぶ経営の神髄~

デイヴィッド・ブラウン 著

早川書房

ブロックバスター対 Netflix、IBM 対ユニバック、iPhone 対ブラックベリー…。名将・孫子の理論で27のビジネス戦争を分析し、経営戦略の本質を解き明かす。

2023:2./ 406p 978-4-15-210214-0 ¥2,750〔税込〕



読売新聞 2023/05/21



### 五月 その他の短篇

アリ・スミス 著

河出書房新社

近所の木に身も世もなく恋をする「五月」、地下鉄駅構内で死神とすれちがう「生きるということ」など、全 12 篇を収録する短篇集。どこにでもいそうな愛すべき人々の、どこにもなさそうな 12 か月の物語を描く。

つ、どこにもなさそうな **12** か月の物語を描く。

読売新聞 2023/05/21

2023:3./ 206p 978-4-309-20877-0 ¥2,200〔稅込〕





### 東大生、教育格差を学ぶ(光文社新書 1247)

松岡亮二、髙橋史子、中村高康 著光文社

地域・性別・社会階層など、本人が変えることのできない「生まれ」によって学力や学歴などに差がうまれる「教育格差」を、東大生 38 人はどう捉えるか。自らの教育体験を振り返りつつ、社会的意味を考える。ゼミを新書化。

2023:3./ 337p 978-4-334-04654-5 ¥1,034〔税込〕



読売新聞 2023/05/21



## ルネ・ジラール(文庫クセジュ 1057)

クリスティーヌ・オルスィニ 著

白水社

従来の「人文科学」の枠組みに囚われることなく、「真の人間学」を立ち上げ、あらゆる迫害的表象の脱神話化を試みた人類学者ルネ・ジラール。その生涯や、主な思想「模倣的欲望」などを掘り下げる。

2023:4./ 186p,4p 978-4-560-51057-5



¥1,320〔稅込〕

読売新聞 2023/05/21



# 江戸のキャリアウーマン〜奥女中の仕事・出世・老後〜(歴史文化ライブラリー 568)

柳谷 慶子 著

吉川弘文館

生家を離れ、単身武家へ奉公に出た奥女中。儀礼の差配、親族大名との交際、将軍家への使者など奥向から大名家を支えた仕事に注目し、その働きやキャリア形成、老後の待遇に迫る。

2023:3./ 7p,260p 978-4-642-05968-8 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2023/05/21



### 居場所。~ひとりぼっちの自分を好きになる12の「しないこと」~

大﨑 洋著

サンマーク出版

ダウンタウンを見出し、ともに歩みつづけた吉本興業のトップがはじめて語る「生きづらさ」の処方箋。激動の人生を歩んだ著者が、自分や大切な人たちの「居場所」をつくるために心がけてきた 12 の「しないこと」を伝える。

2023:3./ 309p 978-4-7631-3998-6 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2023/05/21



### キャンパスの戦争~慶應日吉 1934-1949~

阿久澤 武史 著

慶應義塾大学出版会

青春を謳歌していた慶應義塾大学の予科生たちが学ぶモダンな校舎は、いかにして兵士たちが行き交う空間となったのか。連合艦隊司令部地下壕で知られる日吉キャンパスの、誕生より米軍からの返還までを描く。

読売新聞 2023/05/21

2023:3./ 9p,271p 978-4-7664-2867-4

¥2,970〔税込〕





### 江戸の女子旅~旅はみじかし歩けよ乙女~

谷釜 尋徳 著

晃洋書房

関所を越え、難所を歩き、大河を渡る。それでも女性たちを惹きつけた旅の魅力とは。女子旅の必需品、ルートや 1 日に歩いた距離、旅装から旅費、グルメまで、近世に流行した女子旅の考察を通して、活発な江戸の女性像を描く。

2023:2./ 9p,184p 978-4-7710-3700-7 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2023/05/21



## 人生後半の戦略書〜ハーバード大教授が教える人生とキャリアを再構築する 方法〜

アーサー・C・ブルックス 著

SBクリエイティブ

人生の後半に、失望を抱えて生きるのではなく、さらなる前進のチャンスに変え、より力強く幸福に生きるためには。「成功依存症から抜け出す」「欲や執着を削る」など、新しいタイプの成功を見つける生き方を紹介する。

2023:3./ 318p 978-4-8156-1847-6 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2023/05/21



## 関東大水害~忘れられた 1910 年の大災害~(首都圏史叢書 8)

土田宏成/吉田律人/西村健 著

日本経済評論社

明治 43(1910)年 8 月、関東地方を中心に甚大な被害をもたらした関東大水害。人々はどのように対応したか。その後の災害対策への影響と教訓は何か。首都東京とその周辺を中心に多面的に考察する。

2023:2./ 10p,302p 978-4-8188-2623-6 ¥6,270〔税込〕



読売新聞 2023/05/21



### 花粉ハンドブック

日下石 碧著

文一総合出版

身近に咲く植物 89 科 186 種の花粉を紹介する図鑑。一般の観察でも使いやすいよう、光学顕微鏡で撮影した写真と、その見え方をわかりやすく解説するスケッチを掲載する。標本の作り方やコラムも収録。

2023:3./ 127p 978-4-8299-8174-0 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2023/05/21



### アナーキズム~政治思想史的考察~

森政稔 著

作品社

近年の民主主義への鋭利な分析で注目されている論者が、長年取り組んできた研究の成果を集成。政治思想や政治理論のなかで「アナーキズム的モーメント」が果たしてきた役割を、学問的に明らかにする。

読売新聞 2023/05/21

2023:3./ 321p,4p 978-4-86182-706-8 ¥2,970〔税込〕





### 10 代の悩みに効くマンガ、あります!(岩波ジュニア新書 965)

トミヤマ ユキコ 著

岩波書店

10 代は楽しいことも多い一方で、友達や親との関係にモヤモヤしたり、進路や将来をあれこれ考えたり、見た目や SNS に神経を使ったりとけっこう大変! そんな 10 代の悩みに効く多種多様なマンガを紹介する。

2023:3./ 12p,210p 978-4-00-500965-7 ¥1,056〔税込〕



読売新聞 2023/05/28



## 氷点<[正]下> 改版(角川文庫 み 5-4)

三浦 綾子 著

角川書店

陽子に愛情をそそぐ兄・徹は、思いを自制するために友人・北原を陽子に紹介した。 北原と陽子は心通わせるが、夏枝は嫉妬心から、2人に陽子の出生の秘密をぶちまけ てしまい…。 2012:6./ 385p 978-4-04-100339-8 ¥704〔税込〕



読売新聞 2023/05/28



## 氷点<[正]上> 改版(角川文庫 み 5-3)

三浦 綾子 著

角川書店

辻口病院長夫人・夏枝が青年医師と逢い引きしている間に、3歳の娘が殺害された。 辻口は聖書の「汝の敵を愛せよ」との教えと妻への復讐心から、犯人の娘・陽子を養 子に迎える。やがて、辻口の行いに気づいた夏枝は…。 2012:6./ 380p 978-4-04-100340-4 ¥704〔税込〕



読売新聞 2023/05/28

## 母(角川文庫)

三浦 綾子 著

角川書店

明治初め、東北の寒村に生まれた小林多喜二の母セキ。大らかな心で多喜二の理想を 見守り、人を信じ、愛し、懸命に生き抜いたセキの、波乱に富んだ一生を描く。感動 の長編小説。 1996:6./ 244p 978-4-04-143717-9 ¥528〔税込〕



読売新聞 2023/05/28

### 最後の殉教者(講談社文庫)

遠藤 周作 著

講談社

著者の切支丹文学の原点ともいうべき名作「最後の殉教者」ほか、遠藤文学の珠玉作 を集成した純文学短編集。

読売新聞 2023/05/28

1984:12./ 236p 978-4-06-183389-0 ¥660〔税込〕





### 愛すること信ずること(講談社文庫)

三浦 綾子 著

講談社

"悪妻の見本"という著者が、自らの生活を率直に語り、「夫婦とは何か」「人を愛するとは?」を問う名著。ユーモラスな語り口に、深く人生の機微を捉え、幸せに満ち、心温まる夫婦愛の記録でもある。本当の愛を見つけたいあなたへ。

2004:2./ 240p 978-4-06-273959-7

¥660〔税込〕



読売新聞 2023/05/28



## 深い河(ディープ・リバー) 新装版(講談社文庫 え 1-48)

遠藤 周作 著

講談社

喪失感をそれぞれに抱えインドへと旅をともにする人々。混沌とした世界で、生きる もののすべてを包み込み、母なる河ガンジスは流れていく。本当の愛、生きることの 意味を問う、遠藤文学の集大成。 2021:5./ 391p 978-4-06-523448-8



読売新聞 2023/05/28



## 画家とモデル〜宿命の出会い〜(新潮文庫 な-110-1)

中野 京子 著

新潮社

小人症の人々の威厳ある姿を描いたベラスケスの秘密、身分違いの女公爵への愛のメッセージを絵に潜ませたゴヤ...。名画に刻まれた描く者と描かれる者の知られざる関係を読み解く。カラー図版も収録。

2023:3./ 238p 978-4-10-104531-3 ¥990〔税込〕



読売新聞 2023/05/28



### 沈黙 改版(新潮文庫)

遠藤 周作 著

新潮社

島原の乱が鎮圧されて間もないころ、キリシタン禁制の厳しい日本に潜入したポルトガル人司祭ロドリゴは、日本人信徒たちに加えられる残忍な拷問と悲惨な殉教のうめき声に接して苦悩し、ついに背教の淵に立たされる.....。

2003:5./ 312p 978-4-10-112315-8 ¥693〔稅込〕



読売新聞 2023/05/28



### 塩狩峠 改版(新潮文庫)

三浦 綾子 著 新潮社 読売新聞 2023/05/28 2005:2./ 459p 978-4-10-116201-0 ¥935〔税込〕





### 道ありき~青春編~ 改版(新潮文庫)

三浦 綾子 著 新潮社 読売新聞 2023/05/28 2002:4./ 381p 978-4-10-116202-7 ¥737〔税込〕





### 官邸官僚が本音で語る権力の使い方(新潮新書 989)

兼原 信克/佐々木 豊成/曽我 豪/髙見澤 將林 著 新潮社

巨大タンカーのごとき日本政府を操るにはコツが必要だ。歴代最長の安倍政権で内 政・外政・危機管理の各実務トップを務めた官邸官僚が、適切な権力行使のための 「官邸のトリセツ」を公開する。 2023:3./ 264p 978-4-10-610989-8 ¥946〔税込〕

読売新聞 2023/05/28



## インドの正体~「未来の大国」の虚と実~(中公新書ラクレ 793)

伊藤融 著

中央公論新社

ロシアと西側との間でふらつき、カーストなど人権を侵害し、自由を弾圧する国を信用してよいのか? インドの陰の部分にメスを入れつつ、キレイ事抜きの実像を検証し、「厄介な国」との付き合い方を前提から問い直す。

2023:4./ 206p 978-4-12-150793-8

¥902〔稅込〕



読売新聞 2023/05/28



## 生き上手死に上手(文春文庫)

遠藤 周作 著

文芸春秋

死ぬ時は死ぬがよし……だれもがこんな境地で死を迎えたい。でも死はひたすら恐い。だからこそ死に稽古が必要になる。周作先生が自らの失敗談を交えて贈る人生セミナー。

1994:4./ 316p 978-4-16-712012-2

¥814〔稅込〕



読売新聞 2023/05/28



## 肌色の月(光文社文庫 探偵くらぶ ひ 23-2)

日下三蔵 編 久生十蘭 著

光文社

宇野久美子は死に場所に選んだ湖に向かうべく伊東で列車を降りるが、予想外の雨。 濡れた彼女に声をかけた紳士の誘いを断り切れず車に乗ると…。絶筆となった表題作 を含む全8編を収録した、ミステリ作品傑作集。 2023:3./ 549p 978-4-334-79508-5 ¥1,210〔稅込〕



読売新聞 2023/05/28



### 金正恩の核兵器~北朝鮮のミサイル戦略と日本~(ちくま新書 1718)

井上 智太郎 著

筑摩書房

北朝鮮の核開発の舞台裏とは。繰り返されるミサイル発射の挑発の意図とは。すぐ隣に誕生した新興核保有国の虚実交えた生き残り戦略を読み解き、核兵器使用をいかに封じていくか考察する。

読売新聞 2023/05/28

2023:4./ 318p 978-4-480-07548-2 ¥1,034〔税込〕





### しかもフタが無い(ちくま文庫 よ 32-1)

ヨシタケシンスケ 著

#### 筑摩書房

ヨシタケシンスケの「創作の原点」であり「絵本の種」でもある、日々、思いついたことをそのままメモしたアイデアスケッチ。30歳までに描きためたスケッチを収録する。くすっと笑えて、なぜかほっとするイラスト集。

2023:3./ 197p 978-4-480-43875-1

¥880〔稅込〕



読売新聞 2023/05/28



## 文明交錯(海外文学セレクション)

ローラン・ビネ 著

東京創元社

鉄、銃、馬、そして病原菌に対する免疫をインカの人々がもっていたとしたら? そしてインカ帝国がスペインを征服したのだとしたら、世界はどう変わっていただろうか? 大胆かつ魅力あふれる歴史改変小説。

2023:3./ 409p 978-4-488-01685-2 ¥3,300〔税込〕



読売新聞 2023/05/28



### 戦地の図書館〜海を越えた一億四千万冊〜(創元ライブラリ Lマ 2-1)

モリー・グプティル・マニング 著

東京創元社

第二次世界大戦終結までに、ナチス・ドイツは 1 億冊を超える書物をこの世から消し去り、対するアメリカは約 1 億 4 千万冊を戦場に送り続けた。アメリカ軍が実行した、史上最大の図書作戦の全貌を描いたノンフィクション。

2020:11./ 268p,68p 978-4-488-07078-6

¥1,100〔稅込〕



読売新聞 2023/05/28



### 世界の奇食の歴史~人はなぜそれを食べずにはいられなかったのか~

セレン・チャリントン=ホリンズ 著

原書房

脳みその酢漬け、カタツムリ水、妖精の腿肉・。人はなぜそれを食べずにはいられなかったのか。文化的背景から食の安全性、密漁ビジネスまで、人間の飽くなき食欲の歴史をたどる。豊富な図版とレシピも収録。

2023:2./ 294p,5p 978-4-562-07260-6

¥2,750〔稅込〕



読売新聞 2023/05/28



### 消え去る立法者~フランス啓蒙における政治と歴史~

王寺 賢太 著

名古屋大学出版会

18 世紀フランス、啓蒙の時代の哲学者たちの立法者論を焦点として、それぞれの著者の政治理論と歴史認識の関係を明らかにする。モンテスキュー「法の精神」、ルソー「人間不平等起源論」「社会契約論」などをとりあげる。

読売新聞 2023/05/28

2023:2./ 8p,491p,30p 978-4-8158-1120-4

¥6,930〔稅込〕





## 銀座のママに「ビジネス哲学」を聞いてみたら~40 年間のクラブ経営を可 能にした、なるほどマイルール 48~(ワニブックス|PLUS|新書 381)

2023:5./ 222p 978-4-8470-6206-3

¥990〔税込〕



伊藤 由美 著 ワニブックス

自分らしい人生を貫き通すために、何を考え、どうやって生きてきたのか。2023年 に開店40周年となる銀座のクラブのオーナーママが、全力で駆け抜けてきた銀座人 生を振り返り、自身が学び得た人生と仕事の哲学をまとめる。

読売新聞 2023/05/28

## 鍵盤に指を置くとき~トゥレットは僕の個性~

YUSK(ユウスケ) 著

アルファベータブックス

自分の意思にかかわらず、身体が動いたり声が出てしまうトゥレット症候群。8歳で 発症後、チック症状に悩まされ、様々な困難にぶつかりながらも、ピアニストとし て、人間として成長した著者が、その人生を綴る。

読売新聞 2023/05/28

2023:5./ 235p 978-4-86598-106-3 ¥1,980〔稅込〕





### 東京 23 区ご利益!参道めし

くぼこまき 著

WAVE出版

閻魔様の赤い稲荷寿司、お地蔵様をかたどった煎餅、厄除けになるかき氷...。神社や お寺にゆかりのある「食」を目的にした東京 23 区の社寺巡りをマンガで提案する。 データ:2022年2月~2023年1月現在。

2023:2./ 183p 978-4-86621-434-4 ¥1,540〔稅込〕



読売新聞 2023/05/28



## だれかに、話を聞いてもらったほうがいいんじゃない?~セラピーに通うセ ラピストと、彼女の4人の患者に起きたこと~

ロリ・ゴットリーブ 著

海と月社

著者はロサンゼルスのセラピスト。ある日、自分自身の危機に見舞われ、一風変わっ た、でも経験豊富なセラピストのもとを訪れることに。いっぽう、彼女の患者たちの 悩みもいろいろで…。心をめぐる「面接室のドラマ」。

2023:3./ 489p 978-4-903212-80-7 ¥2,640〔稅込〕



読売新聞 2023/05/28



### 哲学がわかる哲学の方法

ティモシー・ウィリアムソン 著

岩波書店

常識から出発する、思考実験する、論理的思考を育む、哲学史との関係を捉える...。 その方法、巧みなやり方を探りながら、哲学とは一体何をすることなのか、また哲学 者は何を目指しているのかを、明快に描く。

日本経済新聞 2023/05/06

2023:1./9p,183p,16p 978-4-00-024065-9 ¥2,200〔稅込〕





### 資本主義の新しい形(シリーズ現代経済の展望)

諸富 徹 著

岩波書店

現代の構造変化の核心である「資本主義の非物質主義的転回」を分析することを通じて、日本企業の産業競争力の低下、経済格差の拡大などの課題を理論的かつ包括的に 考察。「社会的投資国家」の将来構想を打ち出す。 2020:1./ 18p,251p 978-4-00-028733-3 ¥2,860〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



## 哲学がわかる懐疑論~パラドクスから生き方へ~

ダンカン・プリチャード 著

岩波書店

危機の時代と言われる今だからこそ、正しく疑うための哲学を身につけよう。哲学の 最重要問題のひとつである「懐疑論」を簡単明瞭に解説。「懐疑論を取り込んだ生き 方」についても果敢に論じる。 2023:2./ 13p,188p,25p 978-4-00-061581-5

¥2,200〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/06



## ヒロシマ・ノート 改版(岩波新書 青版 F-27)

大江 健三郎 著

岩波書店

1963 年夏、現地を訪れた著者の見たものは、十数年後のある日突如として死の宣告をうける被爆者たちの"悲惨と威厳"に満ちた姿であり医師たちの献身であった。著者と広島とのかかわりは深まり、その報告は人々の胸を打つ。

2021:9./ 206p 978-4-00-415027-5 ¥902〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



## 社会的共通資本(岩波新書 新赤版)

宇沢 弘文 著

岩波書店

ゆたかな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を安定的に維持する-このことを可能にする社会的装置が「社会的共用資本」である。その考え方や役割を、経済学史のなかの位置づけ、農業、都市、医療、教育といった具体的テーマに即して明示。

2000:11./ 239p 978-4-00-430696-2

¥968〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/06



### 新・学問のススメ〜生涯学習のこれから〜(講談社現代新書 2147)

石 弘光 著

講談社

生涯学習とは何か。放送大学の学長を務めた著者が、日本の生涯学習機関を代表する放送大学で、生涯学習が実際にどのように行われているのかをつぶさに検討する。

日本経済新聞 2023/05/06

2012:3./ 262p 978-4-06-288147-0 ¥814〔税込〕





## ハンナ・アレント〜全体主義という悪夢〜(講談社現代新書 現代新書 100 2677)

牧野 雅彦/ハンナ・アレント 著

講談社

人々を分断し、生活基盤を破壊する全体主義。分断が進み、好戦的な科学技術が発展 する今日、このディストピアから逃れる方策はあるか。ナチスから逃れ、全体主義と いう現象に正面から向き合ったハンナ・アレントの思想を解説。 2022:9./ 119p 978-4-06-529540-3

¥880〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



### マルクス〜生を呑み込む資本主義〜(講談社現代新書 現代新書 100 2695)

白井 聡 著

講談社

人々が「自分のもの」と信じて疑わない意識、感性、思考のなかにまで、資本主義が 浸透し、深化するとはどういうことかを、マルクスの理論を通じて検証。マルクスの 思想の核心部に迫る。 2023:2./ 126p 978-4-06-531196-7 ¥880〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



## 戦争の地政学(講談社現代新書 2698)

篠田 英朗 著

講談社

海を重視する「英米系地政学」と圏域思想を特徴とする「大陸系地政学」という2つの全く異なる地政学に着目して、この500年間に起きた戦争を分析。国際情勢の動向を構造的に把握するための視点を提供する。

2023:3./ 211p 978-4-06-531283-4

¥990〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



## 西田幾多郎〜分断された世界を乗り越える〜(講談社現代新書 現代新書 100 2702)

櫻井 歓 著

講談社

電子メディアの発達、貧富の差の拡大、戦争によって世界中で分断が起きている現代において、人々はどう繋がることができるのか。西田幾多郎の哲学から今を生き抜くためのヒントを読み解く。

2023:4./ 126p 978-4-06-531765-5 ¥880〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06

### ことばの歳時記 改版(新潮文庫)

金田一 春彦 著

新潮社

深い学識とユニークな発想で、四季折々のことばの背後にひろがる日本人の生活と感情、歴史と民俗を広い視野で捉えた異色歳時記。

日本経済新聞 2023/05/06

1992:12./ 415p 978-4-10-121501-3

¥825〔税込〕





### クローズドサスペンスへブン(新潮文庫 nex こ-77-1)

五条 紀夫 著

新潮社

俺は、間違いなく殺された。気がついたら目の前にはリゾートビーチと西洋館。現世で惨殺された6人が、記憶を無くした状態で、この天国屋敷に返り咲いたらしい。俺は誰だ?なぜ、誰に殺された!?

2023:4./ 260p 978-4-10-180261-9 ¥693〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/06



## ギャンブラーが多すぎる(新潮文庫 ウ-26-1)

ドナルド・E・ウェストレイク 著

新潮社

タクシー運転手チェットは大のギャンブル好き。ノミ屋のトミーを訪ねると、彼は撃ち殺されていた。容疑者にされたうえ2つのギャング組織から追われることになったチェットは、トミーの妹と組んで真犯人を探すことに…。

2022:8./ 441p 978-4-10-240231-3 ¥880〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



### 目的への抵抗〜シリーズ哲学講話〜(新潮新書 991)

國分 功一郎 著

新潮社

消費と贅沢、自由と目的、行政権力と民主主義の相克など、コロナ危機に覚えた違和感の正体に迫り、現代社会における哲学の役割を問う。「暇と退屈の倫理学」をより深化させた革新的論考。東京大学での講和を収録する。

2023:4./ 206p 978-4-10-610991-1 ¥858〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



### イスラエル~人類史上最もやっかいな問題~

ダニエル・ソカッチ 著

NHK出版

イスラエルを正しく理解するための入門書。旧約聖書の時代から現代に至るまでのイスラエルの歴史を概観し、イスラエルをめぐる現代の厄介な論争を検討。さらに自身の経験をコラムを通じて生き生きと綴る。

2023:2./ 371p,25p 978-4-14-081933-3 ¥2,860〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



### 昭和天皇伝(文春文庫 い 90-1)

伊藤 之雄 著

文藝春秋

日本の命運を一身に背負った君主は、何を決断したのか。昭和天皇の苦悩と試行錯誤、そして円熟の日々。公的生涯のみならず、母・貞明皇太后、妻・良子皇后、子・今上天皇などとの家庭生活にまで迫った、人間・昭和天皇の評伝。

日本経済新聞 2023/05/06

2014:3./ 589p 978-4-16-790064-9





### 中国的経営イン・デジタル~中国企業の強さと弱さ~

岡野寿彦 著

日経BP社

中国的経営の原理とは?日本的経営とどう違うのか?ファーウェイ、アリババといった先進 IT 企業のケーススタディを通して、中国企業の「型」を解き明かし、日本企業にとっての教訓をさぐる。

2023:1./ 462p 978-4-296-11632-4 ¥4,180〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



## 歩くこと、または飼いならされずに詩的な人生を生きる術

トマス・エスペダル 著

河出書房新社

自分の人生を、主体的に歩き続けるとは?歩くこと、作家として生きること、愛、芸術、詩、自然について、紀行、自伝、エッセイ、手紙、日記といった複数のジャンルを行き来しながら書かれた、新しく実験的で独創的な小説。

2023:2./ 269p 978-4-309-20875-6 ¥2,915〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/06



## 再考 ファスト風土化する日本〜変貌する地方と郊外の未来〜(光文社新書 1252)

三浦展 著

光文社

全国各地のロードサイドに同じような商業施設が建ち並ぶ「ファスト風土化」によって、郊外とそこに暮らす人々の意識はどう変わったか。小説家、建築家、研究者など13人の知見をもとに、郊外のいままでとこれからを考える。

2023:4./ 294p 978-4-334-04659-0 ¥990〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



### 二十一世紀に生きる君たちへ~洪庵のたいまつ~

司馬 遼太郎 著

世界文化社

小学校国語教科書に収められた「二十一世紀に生きる君たちへ」「洪庵のたいまつ」を収録。子どもは何をしなくてはならないのか? 人は何のために生きるのか? その答えが司馬遼太郎の肉声で聞こえてくる。

2001:2./ 47p 978-4-418-01504-7 ¥1,320〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



### 民主主義のつくり方(筑摩選書 0076)

宇野 重規 著

筑摩書房

無力感と政治不信が広がる今、民主主義を再生させるには何が必要か?"習慣"と"信じようとする権利"を重視する「プラグマティズム型」の民主主義モデルを提示し、"社会を変える"道筋を探る希望の書。

日本経済新聞 2023/05/06

2013:10./ 218p 978-4-480-01583-9 ¥1,650〔税込〕





## 職場のメンタルヘルス・マネジメント〜産業医が教える考え方と実践〜(ちくま新書 1714)

川村 孝 著

川村 孝 <sup>2</sup>筑摩書房

深刻化する職場のメンタルヘルス問題。悩ましい事例にどう対応すべきか。産業医としての経験と精神医学の最新知見をもとに、管理職や人事労務担当者が押さえておくべきポイントを丁寧に解説する。

2023:3./ 222p 978-4-480-07542-0 ¥924〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



### 棕櫚を燃やす

野々井 透著

筑摩書房

唯一の心地よい関係を育ててきた父の体内に何かが棲み、余命一年であるという。春野と妹・澄香は毎日をあまさず暮らそうと約束するが…。喪失へと向かう家族を描いた表題作など全2編を収録する。

2023:3./ 157p 978-4-480-80511-9



日本経済新聞 2023/05/06



### 夜の銀座史〜明治・大正・昭和を生きた女給たち〜

小関 孝子 著

ミネルヴァ書房

女給たちはどのような理由で夜の世界で働くことを選んだのか。何を考え、どのような気持ちで働いていたのか。明治中期から 1960 年頃までの史料を時系列に並べ、それらの言説から時代ごとの微妙な変化を読み取る。

2023:3./ 13p,250p,5p 978-4-623-09560-5 ¥2,640〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/06



### 消えた冒険家(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 4-8)

ローマン・ダイアル 著

亜紀書房

雪山登山から氷河、ジャングルまで、数々の冒険を共にしてきた一家。だが、単身向かったコスタリカで息子は消息を絶ち、父親による命をかけた執念の捜索が幕を開ける…。冒険旅行の誘惑と、親子の絆を描いたノンフィクション。

2023:3./ 483p 978-4-7505-1784-1 ¥2,750〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



### 少年とリング屋

TAJIRI 著

イースト・プレス

解体されたリングを積んだ荷台にしのびこむプロレスマニアの少年。何も知らないリング屋はトラックを走らせて…。プロレスを通して人々の夢と「何者か」になろうとするおかしみ、人生の悲哀を描く短編連作。

日本経済新聞 2023/05/06

2023:3./ 237p 978-4-7816-2184-5 ¥1,650〔稅込〕





### ちんどん屋の響き~音が生み出す空間と社会的つながり~

阿部 万里江 著

世界思想社

路上の巡回広告業ちんどん屋の音は、広告という文脈を超えて、多くの聴き手と文脈の中で共鳴している。大阪のちんどん屋を通して、ちんどんの歴史と実践を捉える。

2023:3./ 6p,279p 978-4-7907-1780-5 ¥3,850〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



## いとなみを取り戻す〜大槌刺し子と学んだ、「ちょうどいい」を目指す働き かた〜

吉田真衣/大槌刺し子 著

震災後・大槌町で、"針と糸"で希望を紡いだ「刺し子」の女性たち。ともに歩んだ 10年の葛藤と、伝統手芸のぬくもりから見出した、心身ゆたかで持続可能な仕事と生きかたのヒントを伝える。

2023:3./ 205p 978-4-86276-323-5 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06



### 台湾文学というポリフォニー~往還する日台の想像力~

垂水 千恵 著

岩波書店

英治出版

台湾は日本人作家の想像力をどのように刺激したか。台湾人作家はどのように日本を 捉え描いてきたか。戦前から戦後を経て現代まで、複雑に絡み合う台湾と日本の関係 を、文学を通じて読み解く。 2023:3./ 6p,290p 978-4-00-061584-6 ¥3,850〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/06、毎日新聞 2023/05/27



### サピエンス減少〜縮減する未来の課題を探る〜(岩波新書 新赤版 1965)

原 俊彦 著

岩波書店

人口増を前提にした政治と経済、文化、社会システムは再構築を迫られている。もは や不可避の未来である世界の人口減少の"最突端"に位置する日本から、サピエンスの 未来を考察する。 2023:3./ 9p,167p 978-4-00-431965-8

¥968〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/13



### 地上に星座をつくる(新潮文庫 い-146-1)

石川 直樹 著

新潮社

ヒマラヤ遠征を繰り返し、北極海でシロクマに出会い、沖縄で漂着クジラの亡骸に手を合わせ、ユーコン川をカヌーで下りアラスカへ。カメラを携え未知なる世界と出会い続ける**7**年間の身体と思考の軌跡。

2023:5./ 335p 978-4-10-104551-1 ¥880〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/13



### 数学が見つける近道(CREST BOOKS)

マーカス・デュ・ソートイ 著

新潮社

数学は人間の思考をいかに合理化してきたか。素数、微分、確率、集合など、課題解 決に数学が示してくれる「近道」の数々を紹介。人生を豊かにする様々な「倍速術」 を紹介する科学エッセイ。 2023:3./ 377p 978-4-10-590187-5 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/13



### 核兵器について、本音で話そう(新潮新書 945)

太田 昌克、兼原 信克、髙見澤 將林、番匠 幸一郎 著新潮社

日本を射程に収める核ミサイルは中朝露で計数千発。核廃絶を望むならば、東アジアの現状を踏まえたありうべき国家戦略を日本自身が構想しなければならない。核政策に深くコミットしてきた専門家 4 人が、本音で語り合う。

2022:3./ 271p 978-4-10-610945-4



¥946〔稅込〕

日本経済新聞 2023/05/13



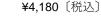
### 権力の劇場~中国共産党大会の制度と運用~

呉国光 著

中央公論新社

中国共産党の最高機関、中国共産党大会とは何なのか。知られざる 100 年の歴史とそこにある中国的思考・中国的権力の本質とは・。80 年代に政権ブレーンだった著者が、党大会を政治学の切り口から分析する。

2023:3./ 21p,507p 978-4-12-005580-5





日本経済新聞 2023/05/13



## ポストイクメンの男性育児〜妊娠初期から始まる育業のススメ〜(中公新書 ラクレ 791)

平野翔大 著

中央公論新社

「取るだけ育休」などで母親を困らせるだけでなく、父親自身を「産後うつ」に追い込むなどの問題を引き起こしている「育休推進」。孤立する父親と向き合ってきた医師が、男性育児・育休の問題点、解決すべき課題を提言する。

2023:4./ 269p 978-4-12-150791-4 ¥1,034〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/13



### 核兵器のない世界へ~勇気ある平和国家の志~

岸田 文雄 著

日経BP社

核兵器がもたらす非人道的な災いを再び、この地球上にもたらすべきではない-。広島県選出の国会議員・岸田文雄が、故郷・広島への想い、核廃絶のリアリズム、核の傘と非核三原則、岸田イニシアティブなどを語る。

日本経済新聞 2023/05/13

2020:10./ 279p 978-4-296-10697-4 ¥1,760〔税込〕





### ジョン・メイナード・ケインズ~1883-1946~<上>

ロバート・スキデルスキー 著

日経BP社

2 つの世界大戦の時代を通じて、世界のあるべき秩序を求め、また母国を救うために 奮闘、経済学に革命をもたらしたケインズの全貌を描き出す。上は、両親・家族、出 生から、大恐慌の到来までを収録。

2023:2./ 17p,640p 978-4-296-11356-9 ¥4,950〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/13



### ジョン・メイナード・ケインズ~1883-1946~<下>

ロバート・スキデルスキー 著

日経BP社

2 つの世界大戦の時代を通じて、世界のあるべき秩序を求め、また母国を救うために 奮闘、経済学に革命をもたらしたケインズの全貌を描き出す。下は、不況の理論的解 明から死に至るまでの後半生を収録。

2023:2./620p,27p 978-4-296-11357-6 ¥4,950〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/13



### 「核の忘却」の終わり~核兵器復権の時代~

秋山 信将/高橋 杉雄 編

勁草書房

国際政治の緊張が高まり、核廃絶への期待は急速にしぼんでいった。練達の安全保障 研究者が核戦略・核抑止の論理をさまざまに検証し、日本に突き付けられた課題を明 らかにする。

2019:6./7p,252p 978-4-326-30280-2

¥4,180〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/13



### 正しい核戦略とは何か~冷戦後アメリカの模索~

ブラッド・ロバーツ 著

勁草書房

ウクライナ戦争で明らかになった核兵器のリアル。これまでアメリカは核武装した敵 国や、不安を抱える同盟国とどう向き合ってきたのか。米政権で核・ミサイル防衛政 策を担当してきた第一人者が徹底検証する。

2022:8./8p,377p 978-4-326-30314-4

¥4,950〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/13



### 下山事件〜最後の証言〜

柴田 哲孝 著

祥伝社

私の祖父は実行犯なのか? 昭和24年7月6日未明、初代国鉄総裁の下山定則が五 反野の常磐線上で轢死体となって発見された「下山事件」。親族、組織の総帥へのイ ンタビューを通し、初めて明らかになる事件の真相!

978-4-396-63252-6

2005:7./452p



¥2,200〔稅込〕

日本経済新聞 2023/05/13



### 「ニセの自分」で生きています~心理学から考える虚栄心~

稲垣 智則著

明石書店

他者のことが気になり、ウソをつき見栄を張る外面的な仮面を外して、自分の内面と向き合うとき、自分を否定せず、生き続けるには…。身近にある言葉やカルチャーから生きるヒントを紡ぎ出す内省的エッセイ集。

2023:4./ 239p 978-4-7503-5528-3 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/13



## ダンテ、李白に会う~四元康祐翻訳集古典詩篇~

四元康祐 著

思潮社

リルケ、ディキンソン、ダンテ、そして杜甫、李白…。古今東西の詩人たちの深層を 手さぐりし、そのポエジーを思い切った跳躍で現在ただ今の日本語に響かせる、縦横 無尽の翻訳集。『現代詩手帖』連載を書籍化。 2023:3./ 267p 978-4-7837-2793-4 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/13



### 核共有の現実~NATO の経験と日本~

岩間 陽子 編

信山社出版

核共有は日本の安全保障に資するか。NATO の核共有制度とはなにか。核共有制度がNPT 中心の核秩序に位置づけられた過程を解明し、現代のアジアにおける論点を示す。

2023:2./ 13p,207p 978-4-7972-7515-5 ¥4,620〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/13



### 理念の国がきしむとき~オバマ・トランプ・バイデンとアメリカ~

中山 俊宏 著

千倉書房

巨大な理念の国と最前線で切り結んだ、気鋭のアメリカ政治学者・中山俊宏。オバマからバイデンまで、3人の大統領の下で激しく変貌するアメリカと対峙し、2022年に急逝した彼の思索をまとめた遺稿集。未発表論稿も収録。

2023:3./ 4p,430p 978-4-8051-1285-4 ¥3,960〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/13



## 創価学会~政治宗教の成功と隘路~

櫻井 義秀/猪瀬 優理 編

法蔵館

日本最大の教団・創価学会はどのような理念と組織戦略をもって戦後から現代まで生き抜いてきたのか。日本社会に与えるインパクトを、政治との関係から読み解く論 集。 2023:4./ 6p,321p,7p 978-4-8318-7765-9 ¥2,530〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/13



### オープン・ウォーター

ケイレブ・アズマー・ネルソン、下田 明子 著 左右社

サウスイースト・ロンドンのパブで出逢った写真家とダンサー。アフリカ系イギリス 人の仲間に囲まれ、互いを慈しみながら過ごすが、トラウマや悲しみ、人種差別が邪 魔をする。それでも手を伸ばし、自分や他人を愛そうとし…。 2023:4./ 215p 978-4-86528-364-8 ¥2,530〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/13



## 水上バス浅草行き

岡本真帆 著ナナロク社

現場から病院までの犬という犬を吠えさせてゆく救急車 この街はどこも消毒済みだから手書きの誤字がとてもうれしい 水上の乗り物からは手を振っていい気がしちゃうのはなぜだろう 第1歌集。

2022:3./ 162p 978-4-86732-010-5 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/13



### 野球短歌~さっきまでセ界が全滅したことを私はぜんぜん知らなかった~

池松 舞 著ナナロク社

サードから本塁までが遠すぎて半日かけてもたどりつけない 村上に重圧がとアナは 言うが対する投手だってそうだわ 2022 年のプロ野球、阪神戦。一試合ごとに詠み続けた、野球への愛に満ちた短歌全 313 首を収録する。

2023:3./ 177p 978-4-86732-019-8 ¥1,760〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/13



### ワクチン開発と戦争犯罪~インドネシア破傷風事件の真相~

倉沢 愛子/松村 高夫 著

岩波書店

1944 年 8 月、ジャカルタの収容所で、ワクチンを接種した「ロームシャ」が破傷風により多数死亡した。伝染性のない破傷風患者が、なぜ大量発生したのか。日本軍のワクチン戦略がもたらした悲劇の真相を明らかにする。

2023:3./ 22p,239p,11p 978-4-00-061585-3 ¥2.530〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/20



## ありがとうもごめんなさいもいらない森の民と暮らして人類学者が考えたこと(新潮文庫 お-113-1)

奥野 克巳 著

新潮社

<反省><謝罪>の概念がない、うつも自殺もない。ボルネオ島の狩猟採集民「プナン」とのフィールドワークから見えてきたこととは・。豊かさ、自由、幸せとは何かを根っこから問い直す、刺激に満ちた人類学エッセイ。

日本経済新聞 2023/05/20

2023:5./ 377p 978-4-10-104571-9 ¥935〔税込〕





### 56 日間(新潮文庫 ハ-59-1)

キャサリン・R・ハワード 著 新潮社

新型コロナウイルスが猛威をふるうなか、ダブリン市内の集合住宅で身元不明の男性の遺体が見つかる。その 56 日前、独身女性キアラは謎めいた男性オリヴァーと出会っていて…。サスペンス小説。

2022:10./ 571p 978-4-10-240221-4 ¥1,045〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/20



### 小津安二郎

平山 周吉 著新潮社

小津監督のキャメラが捉える原節子の向こうには、いつも中国で戦死した天才・山中 貞雄監督の存在があった-。生者と死者との間の「聖なる三角関係」が織り成す静寂 の美の謎を解き明かす評伝。『新潮』連載を書籍化。 2023:3./ 397p 978-4-10-352472-4 ¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/20



## 戦後教育史〜貧困・校内暴力・いじめから、不登校・発達障害問題まで〜 (中公新書 2747)

小国喜弘 著

中央公論新社

学校教育はなぜ行き詰ったのか。貧困、日教組、財界主導、校内暴力、政治介入、いじめ、学級崩壊、発達障害の激増など、各時代の問題を描き、日本社会と教育の歴史を辿る。現在と未来の教育を考える手掛かりとなる一冊。

2023:4./ 6p,320p 978-4-12-102747-4 ¥1.034〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/20



### 日本の会社のための人事の経済学

鶴光太郎 著

日経BP社

ジョブ型雇用、人的資本経営、テレワーク、ウェルビーイング-。どこからどのように進めるべきか? 人事・労務担当者が参考とすべき改革のフレームワーク「人事の経済学」を明快に解説する。

2023:4./ 314p 978-4-296-11768-0 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/20



### NETFLIX の最強人事戦略~自由と責任の文化を築く~

パティ・マッコード、櫻井 祐子 著 光文社

業界最高水準の給料を払う、将来の業務に適さない人に辞めてもらう、人事考課制度は時間と労力のムダ…。従来の成功方程式を全否定するほどの激変で急成長を遂げた「NETFLIX」の人事戦略を紹介する。

日本経済新聞 2023/05/20

2018:8./ 243p 978-4-334-96221-0 ¥1,760〔税込〕





### 才能の正体(幻冬舎文庫 つ-14-1)

坪田 信貴 著

幻冬舎

才能の芽は必ずあなたの中にある! 受験から人材育成まで数多の奇跡を生んだ著者が、個人の才能の伸ばし方や、才能ある人材をどう見出し、どう育成していくかについての具体的なメソッドをまとめる。

2020:6./ 325p 978-4-344-42991-8 ¥825〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/20



## ザッポス伝説~顧客が熱狂するネット靴店~

トニー・シェイ、本荘 修二、豊田 早苗、本荘 修二 著ダイヤモンド社

最速 8 時間のスピード配送、長時間の電話対応、マニュアルなしのサービスの数々…。類い稀な商才を持つ若者が私財と情熱を注ぎ込み、苦難の末にビジネスと人生の目的を発見するまでの軌跡を描く。

2010:12./ 412p 978-4-478-01373-1 ¥1,760〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/20



### 紛争地の歩き方〜現場で考える和解への道〜(ちくま新書 1721)

上杉 勇司著

筑摩書房

殺しあいをしてきた人々は、どのように仲直りをするのか。世界各地の紛争地で、現 地の平和に貢献する活動や研究を行ってきた国際紛争研究者が、紛争の現場で見て、 感じ、考えたことをもとに、和解の物語を綴る。 2023:4./ 350p 978-4-480-07550-5 ¥1,210〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/20



### 独裁者の料理人~厨房から覗いた政権の舞台裏と食卓~

ヴィトルト・シャブウォフスキ 著

白水社

サダム・フセインは何万人ものクルド人をガスで処刑するよう命じた後、何を食べたのか? ポル・ポトやカストロが食べていたものは?20世紀の5人の独裁者に仕えた料理人たちの悲喜こもごもの人生を描く。レシピ付。

2023:4./ 334p 978-4-560-09482-2 ¥3,300〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/20



### 習近平の覇権戦略〜中国共産党がめざす「人類運命共同体」計画〜

イアン・イーストン 著

PHP研究所

「人類共同運命体」など、習近平がめざす中国や国際秩序の将来像を表現するキーワード。人民解放軍の内部資料などを分析し、それらのキーワードが中国国内でどのように軍や政府の幹部に伝えられているかを明らかにする。

日本経済新聞 2023/05/20

2023:3./ 393p 978-4-569-85464-9

¥2,200〔税込〕





## 戦前期日本のポスター $\sim$ 広告宣伝と美術の間で揺れた 50 年 $\sim$ (シリーズ近代 美術のゆくえ)

て、絵画や写真の影響、主題の変化、図案家や画家との関わりなどを解明し、「美

**美術のゆくえ)** 田島 奈都子 著 ¥4,950〔税込〕

2023:4./5p,283p,7p

978-4-642-03924-6

四局 京都丁 者 吉川弘文館 978464203 19世紀末から太平洋戦争終戦までの約 50 年間に製作された日本製ポスターについ

日本経済新聞 2023/05/20



### より少ない生き方~ものを手放して豊かになる~

術」の枠組みの中に位置づける。図版も多数掲載。

ジョシュア・ベッカー、桜田 直美 著

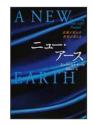
かんき出版

ミニマリズムの本当の利点は豊かさが増えることだ-。ミニマリズム運動を代表する 1 人である著者が、自身や実際にミニマリストになった人たちの体験を交えながら、ミニマリズムの哲学や具体的なテクニックなどを紹介する。

2016:12./ 309p,8p 978-4-7612-7227-2



日本経済新聞 2023/05/20



### ニュー・アース~意識が変わる世界が変わる~

エックハルト・トール 著

サンマーク出版

ついに人類は次のステージに移る。その準備はできているか?あなたは人類の「新しい種」になれるか?人種・言語・文化・思想・宗教・年代・性別…。あらゆるものを超えて人々の魂へ響く普遍的な教え、進化と目覚めの書。

2008:10./ 335p 978-4-7631-9872-3 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/20



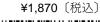
## いなくなっていない父

金川晋吾 著

晶文社

気鋭の写真家が綴る、親子という他人…。時に不気味に、時に息苦しく、時にユーモラスに目の前に現れる親子の姿を、ファインダーとテキストを通して描く、ドキュメンタリーノベル。

2023:4./ 263p 978-4-7949-7354-2





日本経済新聞 2023/05/20



### 完訳7つの習慣~人格主義の回復~

スティーブン・R.コヴィー、フランクリン・コヴィー・ジャパン 著 キングベアー出版

人々の生活や人間関係の効果性を向上させる「7つの習慣」を紹介。私生活や職場の生活等を取り上げ、そこにおける「自立」と「相互依存」双方の大切さを伝える。ジェームス・スキナー講演の映像を収めた CD-ROM 付き。

日本経済新聞 2023/05/20

2013:8./ 40p,521p 978-4-86394-024-6

¥2,420〔税込〕





### 生き方は、選べる。~follow your heart find your vision~

クリス・モンセン 著 フォレスト出版

変われる人こそ、いまがチャンス! YouTube で 30 万人の人生を変えたライフコーチ が、残念な未来を選択しないためにすべきこと、不安や恐怖をはねのける簡単な方法 を紹介する。

2020:11./ 226p 978-4-86680-108-7 ¥1,540〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/20



## 大正時代の音楽文化とセノオ楽譜

越懸澤麻衣 著

小鳥遊書房

「音」を五線譜で出版し、かつて一世を風靡したといわれるセノオ楽譜とは何か?主 宰者・妹尾幸陽とは何者なのか?楽譜の表紙を鮮やかに飾った竹久夢二との関係な ど、大正時代の西洋音楽受容の様子を活写する。

2023:2./ 306p 978-4-86780-009-6 ¥3,080〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/20



### 憎悪の科学〜偏見が暴力に変わるとき〜

マシュー・ウィリアムズ 著

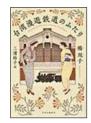
河出書房新社

ネット右翼、陰謀論、テロ攻撃…"普通"の人々が「憎悪」に駆られて誹謗中傷や暴行 に手を染めるメカニズムとは? 第一線の犯罪学者が、神経科学や心理学などを駆使 し、先史時代から AI 時代に至るまでの憎悪の構造を解明。

2023:3./ 386p,26p 978-4-309-23127-3 ¥3,245〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/20、朝日新聞 2023/05/27



### 台湾漫遊鉄道のふたり

楊双子 著

中央公論新社

昭和 13 年、台湾。作家・青山千鶴子は台湾人通訳・王千鶴と出会う。千鶴と台湾縦 貫鉄道に乗りこんだ千鶴子は、つぎつぎ台湾の味に魅了されていく。ただ、いつまで も心の奥を見せない千鶴に、千鶴子の焦燥感は募り...。

2023:4./371p 978-4-12-005652-9 ¥2,200〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/27



### 行動経済学の処方箋~働き方から日常生活の悩みまで~(中公新書 2724)

大竹文雄 著

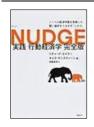
中央公論新社

日々の暮らしや仕事の課題、さらには大きな社会問題まで、その解決策は行動経済学 にある。何気なく行ってしまう"非"合理な選択に、最新の経済理論を駆使して処方箋 を示す。

2022:11./ 12p,236p 978-4-12-102724-5 ¥924〔稅込〕



日本経済新聞 2023/05/27



### 実践行動経済学 完全版

リチャード・セイラー、キャス・サンスティーン 著 日経BP社

ノーベル経済学賞を受賞したセイラー教授の代表作である、行動経済学の入門書。強制や禁止をせずに本人の「よりよい選択」を後押しする"使える"経済学を、わかりやすく解説する。

2022:11./ 462p 978-4-296-00098-2 ¥2,530〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/27



## 統計で騙されない 10 の方法

ティム・ハーフォード 著 日経BP社

データが重視される時代、どうしたら数字の裏の真実を見抜けるか? 「個人的経験を疑う」「数え損なったデータを考える」「公的統計の存在を重視する」など、統計を賢く使うための 10 のルールを伝授する。

2022:5./ 435p 978-4-296-11345-3 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/27



### バブルの世界史~ブーム・アンド・バストの法則と教訓~

ウィリアム・クイン/ジョン・D・ターナー 著 日経BP社

世界史上の巨大バブルの原因と帰結を明らかにし、教訓を指し示すともに、社会に恩恵をもたらす「良いバブル」もあると説く。さらに、バブルの普遍的な法則を明らかにし、将来のバブルを予測できることも示す。

2023:3./ 393p 978-4-296-11364-4 ¥3,850〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/27



### くもをさがす

西 加奈子 著河出書房新社

カナダで、がんになった-。2021 年コロナ禍の最中、滞在先のカナダで浸潤性乳管がんを宣告された著者が、乳がん発覚から寛解までの約8ヶ月間を克明に描く。祈りと決意に満ちた初のノンフィクション。

2023:4./ 252p 978-4-309-03101-9 ¥1,540〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/27



## 村松剛〜保守派の昭和精神史〜

神谷 光信 著 法政大学出版局

東西冷戦期、「保守」の立場から活動したフランス文学者・文芸評論家、村松剛の本格評伝。その生涯を浩瀚な文献から丹念に辿り、人的交流の網目に布置し、時代精神とともに犀利に描き出す。

日本経済新聞 2023/05/27

2023:4./ 534p,12p 978-4-588-46020-3 ¥4,950〔税込〕





### 依存症と人類~われわれはアルコール・薬物と共存できるのか~

カール・エリック・フィッシャー 著

みすず書房

依存症は「病気」なのか? それとも差別や疎外に苦しむ者に刻印されたスティグマなのか-? アルコール依存症から回復した精神科医が、依存性薬物と人類の 3000 年の攻防の歴史を圧倒的な筆力で描く。

2023:4./ 13p,344p,83p 978-4-622-09602-3

¥4,950〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/27



## 土の塔に木が生えて $\sim$ シロアリ塚からはじまる小さな森の話 $\sim$ (新・動物記8)

山科 千里 著

京都大学学術出版会

サバンナに聳える土の塔のような形のシロアリ塚は、やがて形を変えて小さな森になる。叩けば鍬が曲がるほどカチカチの塔の上にどうやって木が生えるのか?誰も見たことのない数百年の物語の原点に迫る。

2023:4./ 277p 978-4-8140-0462-1 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/27



## 禁城~死の沈黙の武漢で、本当に起きたこと~

クライブ・ハミルトン 編 ムロン・シュエツン 著

飛鳥新社

感染の最前線に立った医師、実態を世界に発信し逮捕された市民ジャーナリスト…。 中国政権が喧伝する新型コロナ勝利との英雄的イメージの裏で、最も過酷なロックダウン下の武漢で生きる人々の恐怖、混乱、苦しみを伝える。 2023:3./ 327p 978-4-86410-948-2 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2023/05/27



### 私たちと戦後責任~日本の歴史認識を問う~(岩波ブックレット No.1075)

宇田川 幸大 著

岩波書店

長引くウクライナ戦争、東アジアの緊張の高まりなどをうけ、「戦争の危機」が喧伝されている。戦後日本がつくりあげてきた平和主義を再生・発展させるために、歴史 認識を問い直す。 2023:2./ 60p 978-4-00-271075-4 ¥627〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/06



### テキヤの掟~祭りを担った文化、組織、慣習~(角川新書 K-410)

廣末 登著

**KADOKAWA** 

商売の原初の形態といえるテキヤの露店。薄利の品を祭りで売る、縁日を支える人の生活とは?オーラルヒストリーを通じ、ヤクザと無関係な組織も多いのに混同されやすい独自のギルドの仕組みとテキヤの裏面史を明らかにする。

毎日新聞 2023/05/06

2023:1./ 261p 978-4-04-082442-0 ¥1,034〔税込〕



## 麻雀放浪記<1> 青春編(角川文庫)

阿佐田 哲也 著

角川書店

終戦直後の上野不忍池付近、博打にのめりこんでいく"坊や哲"。博打の魔性に憑かれ、技と駆け引きを駆使して闘い続ける男たちの飽くなき執念を描いた戦後大衆文学最大の収穫!!

1979:1./ 332p 978-4-04-145951-5 ¥704〔税込〕



毎日新聞 2023/05/06



## 失格でもいいじゃないの~太宰治の罪と愛~(講談社選書メチエ 779)

千葉 一幹 著

講談社

盗作、薬物中毒、数度の心中などの事件を起こし、最後は妻子を残して愛人と入水心中を遂げた作家・太宰治。自己破滅的な生涯と、「斜陽」「津軽」「人間失格」など読者を魅了する作品を遺した作家の魅力の源泉に迫る。

2023:2./ 250p 978-4-06-528211-3 ¥1,870〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/06



### 人生はいつだって自問自答

大谷 徹奘 著

小学館

「その瞬間 刹那刹那が 一生一度」「自分の歩み 止めた処が 行きどまり」「答えを出せない 自分に 答えを求めても 答えは出ない だから人は学ぶのです」 心を突き動かす 245 の「言葉」を紹介する。

2023:3./ 155p 978-4-09-389105-9 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2023/05/06



### 会話の科学~あなたはなぜ「え?」と言ってしまうのか~

ニック・エンフィールド 著

文藝春秋

つい口にする「はあ?」「えーと」に重大な意味があった! 「話者交代のタイミング」「質問と答えの関連性」など、これまで言語学が見逃してきた日常会話に注目し、言葉の秘密に迫る革命的研究書。

2023:3./ 260p 978-4-16-391679-8 ¥2,420〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/06



## 長い物語のためのいくつかの短いお話

ロジェ・グルニエ 著

白水社

フランスの小説家ロジェ・グルニエが、人生の旨味と苦味と可笑しみを洒脱な筆致で描いた、生前最後の短篇集。「ある受刑者」「サンドイッチマン」「記憶喪失」など全 13 篇を収録する。

978-4-560-09490-7 ¥2,860〔稅込〕

2023:3./ 187p



毎日新聞 2023/05/06



### 糸暦(MOE BOOKS)

小川 糸 著

白泉社

季節を愛おしみ、旬を味わう-。絶品の山菜料理、りんごケーキ、栗ごはん、手作り石けん、湯治…。小川糸が、巡る季節を自分流に楽しむ暮らしを綴る。料理のレシピも掲載。『月刊 MOE』連載に加筆し再構成して単行本化。

2023:4./ 191p 978-4-592-73313-3 ¥1,540〔税込〕



毎日新聞 2023/05/06



## ムラブリ〜文字も暦も持たない狩猟採集民から言語学者が教わったこと〜

伊藤 雄馬 著

集英社インターナショナル

言葉とは、自由とはなにか? インドシナ最後の狩猟採集民・ムラブリ。タイとラオスの山奥に住む彼らの言語は消滅の危機にある。ムラブリ語に青春をささげた言語学者が、人間と言葉の新たな可能性を拓くノンフィクション。

2023:2./ 255p 978-4-7976-7425-5 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2023/05/06



### うたいおどる言葉、黄金のベンガルで

佐々木 美佳 著

左右社

リクシャで爆走するダッカ市街、嵐の沖縄で思い出すコルカタの雨季…。「チンタ・ナイ(心配ない)」を合言葉にインドとバングラデシュを駆け巡る! ベンガルへの愛と驚きを込めて綴った冒険エッセイ。

2023:2./ 222p 978-4-86528-353-2 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2023/05/06



## 主婦である私がマルクスの「資本論」を読んだら〜15 冊から読み解く家事 労働と資本主義の過去・現在・未来〜

チョン・アウン 著

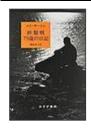
#### **DU BOOKS**

主婦はどうして社会的に見下されるのか。共働き世帯が急増する韓国で、社会から卑下されマイノリティになりつつあるひとりの「主婦」が 15 冊の本を読み解き、「無賃金労働」の歴史をひも解く。

2023:1./ 254p 978-4-86647-189-1 ¥2,420〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/06



### 終盤戦 79歳の日記

メイ・サートン 著

みすず書房

多くの収穫を期待したのに、病気と闘う一年になった。でも入れ替わり訪れる友人たちに元気をもらい、読書欲は衰えず、日々新たな希望をみつける詩人は健在だ・。メイ・サートンが生まれて 79 年目の日記。

毎日新聞 2023/05/06、朝日新聞 2023/05/27

2023:3./ 405p 978-4-622-09570-5 ¥3,960〔税込〕





### サーカスの子

稲泉 連 著

講談社

大天幕の中に入ると、そこは夢の世界-。舞台で繰り広げられる華やかなショー、旅を日常として生きる芸人達。子供時代をサーカスで過ごした著者が、失われた<サーカスの時代>を描く。『群像』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

2023:4./ 275p 978-4-06-530966-7 ¥2,090〔税込〕



毎日新聞 2023/05/06、読売新聞 2023/05/14



### 羊飼いの想い~イギリス湖水地方のこれまでとこれから~

ジェイムズ・リーバンクス 著

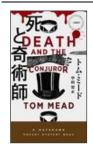
早川書房

持続可能な手法で羊たちを養い、豊かな土地と生活を子供たちへと継承するための方法を、今日も探し続ける…。イギリス湖水地方で600年以上続く羊飼いの家系に生まれた著者が、理想と現実を描く。「羊飼いの暮らし」の続編。

2023:3./ 348p 978-4-15-210221-8 ¥2,750〔税込〕



毎日新聞 2023/05/06、日本経済新聞 2023/05/13



### 死と奇術師(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1990)

トム・ミード 著

早川書房

**1936** 年、高名な心理学者が密室状態の自宅の書斎で殺された。捜査を依頼された元 奇術師の私立探偵ジョセフの前に、再び奇妙な密室殺人がおこり...。本格謎解きミステリ。解決篇は袋とじ。

2023:4./ 249p 978-4-15-001990-7 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2023/05/07



## 仮題・中学殺人事件 新装新版(創元推理文庫 M つ 1-3)

辻 真先 著

東京創元社

人気マンガ原作者が殺害され、2人の少女マンガ家に容疑がかけられる。夕刊サンの記者・可能克郎は、少女マンガに造詣の深い妹らとともに彼女たちを訪ねるが…。画期的な犯人像「犯人=読者」を生み出した、傑作ミステリ。

2023:4./ 206p 978-4-488-40519-9

¥770〔税込〕



毎日新聞 2023/05/07、読売新聞 2023/05/21

### 銀の匙 改版(岩波文庫 緑 51-1)

中 勘助 著

岩波書店

少年時代の思い出を中勘助(1885-1965)が自伝風に綴ったこの作品には、子ども自身の感情世界が、子どもが感じ体験したままに素直に描き出されている。漱石が未曾有の秀作として絶賛した名作。改版。

毎日新聞 2023/05/13

1999:5./ 228p 978-4-00-310511-5 ¥660〔税込〕





### ダライ・ラマ六世恋愛詩集(岩波文庫 32-069-1)

岩波書店

23歳で夭折した、チベットを代表する国民詩人ダライ・ラマ六世。民衆に今なお愛誦されている、リズム感溢れる恋愛詩 100 篇を収録する。ダライ・ラマ六世の生涯や特異性、恋愛詩の特徴についての解説も掲載。

2023:3./ 115p 978-4-00-320691-1 ¥550〔税込〕



毎日新聞 2023/05/13



### 日本銀行~我が国に迫る危機~(講談社現代新書 2696)

河村 小百合 著

講談社

日本は今、日本銀行の財務悪化と、国の財政運営の行き詰まりが同時に表面化しかねない"崖っぷち"に立たされている。問題の構造をわかりやすく説明し、このままではどういう事態に陥るかを、国内外の事例とともに紹介する。

2023:3./ 286p 978-4-06-531510-1 ¥1,100〔税込〕



毎日新聞 2023/05/13



### 母の味、だいたい伝授

阿川 佐和子 著

新潮社

結婚もした、両親も看取った。残るは<あの欲望>だけだ-。コロナ禍の中でも変わらぬ食欲と好奇心から生まれた風味絶佳なエッセイ集。『波』連載、『週刊文春』掲載を書籍化。

2023:2./ 219p 978-4-10-465523-6 ¥1,540〔税込〕



毎日新聞 2023/05/13



### ユートピアとしての本屋~暗闇のなかの確かな場所~

関口 竜平著

大月書店

反差別・反搾取の意思表示で注目される「本屋 lighthouse」。たったひとりで立ち上げ、果敢な発言でも注目される新世代の書店人が、知への信頼が揺らぐ時代に、誰もが生きられる空間をつくるための実践と思考を綴る。

2023:4./ 250p 978-4-272-33111-6 ¥1,870〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/13



### バレエ伴奏者の歴史~19世紀パリ・オペラ座と現代、舞台裏で働く人々~

永井 玉藻 著

音楽之友社

職業として確立しはじめた 19 世紀パリ・オペラ座のバレエ伴奏者たちの活動や役割などを明らかにしながら歴史を辿る。現在の育成事情も紹介し、エトワールやピアニストらのインタビューも収録する。

2023:1./ 210p,13p 978-4-276-25034-5 ¥2,420〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/13



## 火星からの来訪者〜知られざるレム初期作品集〜(スタニスワフ・レム・コレクション)

スタニスワフ・レム 著

国書刊行会

第二次大戦のさなか、アメリカの州境に火星からロケットが飛来。科学者らが火星人との意思疎通を試みるが…。スタニスワフ・レムの本当のデビュー作など、本邦初訳となる 20 歳代の頃の作品全 6 編を収録する。

2023:2./ 369p 978-4-336-07131-6 ¥2,970〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/13



## 戦後空間史~都市・建築・人間~(筑摩選書 0251)

戦後空間研究会 編

筑摩書房

さまざまな出来事を経験し、大きく変容してきた戦後の日本の都市・近郊空間。建築 や都市の研究者が、社会や世界情勢、歴史的事件を含めて戦後のあゆみを多角的に検 討。変質しながらも生き続ける戦後を思考する。 2023:3./ 310p,8p 978-4-480-01769-7

¥1,980〔税込〕

毎日新聞 2023/05/13



### 初山滋 見果てぬ夢

ちひろ美術館 編

平凡社

大正から昭和にかけて、児童雑誌や絵本、童話集など子どもの本に膨大な絵を描き、 童画の創始者のひとりとして知られる初山滋。没後 50 年を記念し、その人生と代表 作、初公開の資料も含めて画業を回顧する。展覧会公式図録。 2023:3./ 143p 978-4-582-20730-9 ¥2,530〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/13



### 幕末維新史への招待

町田 明広 編

山川出版社

幕府海軍は明治政府へ引き継がれたのか? なぜ薩長は新政府の主導権争いに勝てたのか? 幕末維新史の研究上の到達点を、一般向けに分かりやすく紹介。朝廷・幕府などの諸勢力や当時の社会状況を総合的な視点から描き出す。

2023:4./ 278p 978-4-634-15231-1 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2023/05/13



### 杉浦康平と写植の時代〜光学技術と日本語のデザイン〜

阿部卓也 著

慶應義塾大学出版会

戦後日本のグラフィックデザインを牽引したデザイナー・杉浦康平は、写植という新たな技術といかに向き合い、日本語のデザインといかに格闘したのか。彼が日本語のレイアウトやブックデザインに与えた影響を明らかにする。

毎日新聞 2023/05/13

2023:4./ 481p 978-4-7664-2880-3 ¥4,400〔稅込〕





### 少人数学級の経済学~エビデンスに基づく教育政策へのビジョン~

北條 雅一 著

慶應義塾大学出版会

未来を担う子どもたちを育む学校教育。経済学をベースに、少人数学級がもたらす学力・非認知能力の向上、学校教員の過重労働の軽減、教員不足解消への採用方策、教員のウェルビーイング等の論点を、エビデンスを重視して検証。

2023:4./ 18p,284p 978-4-7664-2888-9 ¥2,970〔税込〕



毎日新聞 2023/05/13

## ピーターパン 改版(岩波少年文庫)

J.M.バリ 著

岩波書店

けっして大人になりたがらない永遠の子ども-ピーター・パンの物語。子どもたちはピーター・パンと妖精のティンカー・ベルに導かれて、星の輝く夜空へととびだしました.....。

1989:7./ 352p 978-4-00-112036-3

¥770〔税込〕



毎日新聞 2023/05/20



## 西洋書物史への扉(岩波新書 新赤版 1963)

髙宮 利行 著

岩波書店

文字メディアは、どのように誕生したのか。印刷術の発明のどこが革命的だったのか。書物の読み方は、歴史の中でどう変化したのか・。西洋の書物の豊かな歴史を訪ね、これまでとこれからを見つめるエッセイ集。

2023:2./ 11p,196p,11p 978-4-00-431963-4

¥1.100〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/20



### エタンプの預言者

アベル・カンタン 著

#### **KADOKAWA**

白人男性 65 歳、元大学教師。どうやら私は、まちがえた選択をし続け、社会から取り残されたらしい。リベラルで、しがらみのないインテリのつもりだった。それがまさかの炎上で孤立!? 現代社会への痛烈な皮肉を描いた小説。

2023:4./ 377p 978-4-04-112496-3

¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2023/05/20



### 月と散文

又吉 直樹 著 KADOKAWA

いろんなものが失くなってしまった日常だけれど、窓の外の夜空には月は出ていて、書き掛けの散文だけは確かにあった-。又吉直樹 10 年ぶりのエッセイ集。又吉直樹オフィシャルコミュニティ『月と散文』掲載を加筆・修正。

2023:3./ 356p 978-4-04-897131-7 ¥1,760〔税込〕

毎日新聞 2023/05/20



### 対談日本の文学~素顔の文豪たち~(中公文庫 ち 8-16)

中央公論新社 著中央公論新社

森鷗外・幸田露伴の娘、芥川龍之介の息子、谷崎潤一郎・太宰治の妻、夏目漱石の息子と弟子…。文豪の家族や弟子が、間近に見たその生身の姿を語る。全集「日本の文学」の月報対談を再編集。

2023:4./ 393p 978-4-12-207359-3 ¥1,320〔税込〕



毎日新聞 2023/05/20



## ディズニーCEO が大切にしている 10 のこと(ハヤカワ文庫 NF 600)

ロバート・アイガー 著

早川書房

ABC テレビの雑用係は、いかにしてディズニーのトップに上りつめたのか。総額 9 兆円に及ぶ買収劇は、いかにして成し遂げられたのか。ウォルト・ディズニー・カンパニーCEO が、自身の半生と成功哲学を語りつくす。

2023:4./ 427p 978-4-15-050600-1 ¥1,210〔税込〕



毎日新聞 2023/05/20



## 大人のマナー術(光文社新書 1249)

辛酸なめ子 著

光文社

「繊細さん」の生存戦略、謝罪の流儀、これからの人付き合い…。コロナ禍の限られた人付き合いで、マナー感覚が危機的状況に陥った著者が、よりよい人間関係のヒントを漫画とともに描きだす。光文社新書 note 連載を書籍化。

2023:3./ 267p 978-4-334-04656-9

¥924〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/20



### 鷗外「舞姫」徹底解読~すべてのナゾがこれで解けた!!~

六草いちか 著

大修館書店

森鷗外「舞姫」原文の描写を詳細に分析し、19世紀末のドイツの歴史や文化、地理・気候などのデータをふまえて様々な疑問を解明する。「舞姫」原文・現代語訳も収録。折り込みの1888年ベルリン市街図付き。

2022:12./ 335p 978-4-469-22277-7 ¥2,860〔税込〕



毎日新聞 2023/05/20



## 母は死ねない

河合 香織 著

筑摩書房

育てたい。愛したい。それだけの願いを叶えることが、こんなにも難しい-。自らも母としてあがくノンフィクション作家が、様々な女性たちの声を聴き取り、綴る。 『ちくま』連載を大幅に改稿し、書き下ろしを加える。

毎日新聞 2023/05/20

2023:3./ 214p 978-4-480-81570-5 ¥1,650〔税込〕





### 生きることの意味を問う哲学~森岡正博対談集~

森岡正博 著

青土社

反出生主義はほんとうに自殺を導かないのか。加害者であることは引き受けられるの か-。気鋭の論者とともに生きることの深淵や現代における重要テーマを語り合った 対談集。『現代思想』掲載に新たな語り下ろしを加えて書籍化。

2023:4./ 220p 978-4-7917-7541-5 ¥2,200〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/20



## 東京名酒場問わず語り

奥 祐介 著

草思社

銀座、浅草、湯島、大塚、神楽坂…。居酒屋、立呑み屋からバー、蕎麦屋、鰻屋ま で、老舗店を中心とした東京の名酒場を軽妙な文章で紹介する。名店リスト付き。 『en - taxi』連載を基に加筆訂正し書籍化。

2023:3./ 294p 978-4-7942-2646-4 ¥1,760〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/20



### ゴッホのプロヴァンス便り~手紙とスケッチで出会う、あたらしいゴッホ~

マーティン・ベイリー/冨田章 著

マール社

南フランスで過ごした3年間に、画家ゴッホは多くの傑作だけでなく、膨大な数の手 紙を残していました。家族や画家仲間に宛てた、制作中の作品についての手紙やスケ ッチとともに、美しい作品群を紹介します。

2023:4./ 160p 978-4-8373-0694-8 ¥3,278〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/20



### 新時代を生きる劇作家たち~2010年代以降の新旗手~

西堂行人 著

作品社

「失われた30年|特有の土壌から生まれた演劇であり、旺盛な批評=批判意識を発 揮している劇作家たち。絶頂期にあるドラマティスト7人が、その演劇人生と創作へ の想いを熱く語る対談集。『テアトロ』ほか掲載を書籍化。

2023:3./ 295p 978-4-86182-967-3 ¥2,970〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/20



## メリナの国で〜新編旅のなかの旅〜

山田 稔著

編集工房ノア

日程も組まず、宿も決めずにある日ふらりと出かける。その自由でまた一方不安でも ある気分が、わたしにとって旅の魅力を占める・。名所旧蹟でなく人との出会いを求 めて異国を旅した著者が、思い出の人や別れ、再会の夢を綴る。

¥2,420〔稅込〕

978-4-89271-368-2

2023:5./ 233p



毎日新聞 2023/05/20



### 社会の変え方~日本の政治をあきらめていたすべての人へ~

泉 房穂 著ライツ社

独自の子ども施策や、全国初の「寄り添い施策」を行い、10年連続人口増の明石市。「明石でできることは全国でもできる」を合言葉に、その実現に向けて実行した「お金と組織の大改革」について、明石市長が語る。

2023:1./ 373p 978-4-909044-39-6 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2023/05/20



### ぼくのへや

伊藤ハムスター 著

#### **KADOKAWA**

「きれいずき」のイメージがあるのにそうじゃないあらいぐまのぼく。思い切っていろいろ捨ててみたけれど、手放してみたら…。本当に大事なものに気づく、おっとりアライグマの自分さがしの物語。

2023:3./ 30p 978-4-04-113445-0 ¥1,430〔税込〕



毎日新聞 2023/05/27



### 帝国図書館~近代日本の「知」の物語~(中公新書 2749)

長尾宗典 著

中央公論新社

国家の「知」を支えるべく政府によって設立された帝国図書館。「東洋一」の図書館を目指すも、予算不足に悩まされ続けた。その前身の書籍館から、国立国会図書館へ統合されるまでの80年の歴史を活写する。

2023:4./ 4p,283p 978-4-12-102749-8 ¥1,012〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/27



### 星屑物語

ほしのディスコ 著

### 文藝春秋

「芸人になる」と決意した日のこと、昔から大好きだった歌への想い、複雑な構成の家族のエピソード、愛猫との出会い…。「パーパー」ほしのディスコの自伝的エッセイ。『マセキライブサークル』連載に加筆・修正。

2023:4./ 229p 978-4-16-391693-4 ¥1,540〔税込〕



毎日新聞 2023/05/27



### なんとなく、クリスタル(河出文庫 た 8-1)

田中 康夫 著

河出書房新社

日本がバブル経済に沸く直前、1980年の東京を皮膚感覚で生きる若い女性たちを描き、80年代以降の日本人の精神風土、そして「豊かさ」の終焉までを予見。膨大な"注"に彩られ、精緻で批評的な企みに満ちた不朽の傑作。

毎日新聞 2023/05/27

2013:11./ 241p 978-4-309-41259-7

¥836〔税込〕





### 完本チャンバラ時代劇講座<1>(河出文庫 は 1-29)

橋本 治 著

河出書房新社

チャンバラ映画の面白さとは何だったのか。なぜ廃れてしまったのか・。チャンバラ映画の枠組みを超えて「娯楽」の本質に迫った大衆文化論。1は「チャンバラ映画とはなにか」「これが通俗だ!」「格調の高さの研究」を収録。

2023:1./ 392p 978-4-309-41940-4 ¥1,210〔税込〕



毎日新聞 2023/05/27



## 完本チャンバラ時代劇講座<2>(河出文庫 は 1-30)

橋本 治 著

河出書房新社

チャンバラ映画の面白さとは何だったのか。なぜ廃れてしまったのか-。チャンバラ映画の枠組みを超えて「娯楽」の本質に迫った大衆文化論。2は「チャンバラ映画の流れと、青年の研究」「あの笑顔、そしてその笑顔」を収録。

2023:1./ 544p 978-4-309-41941-1 ¥1,430〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/27



### コーギビルのいちばん楽しい日

ターシャ・テューダー 著

河出書房新社

アメリカの小さな村コーギビルに住んでいるのは、コーギ犬、ネコ、ウサギ、妖精のボガート。村ではクリスマスに向けた準備が始まり…。世界で愛される絵本作家ターシャ・テューダーが描いた、喜びあふれるクリスマスの物語。

2023:4./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-309-71743-2 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2023/05/27



### 眠りつづける少女たち〜脳神経科医は<謎の病>を調査する旅に出た〜

スザンヌ・オサリバン 著

紀伊國屋書店出版部

あきらめ症候群、眠り病、解離性発作…。脳神経外科医が、<謎の病>とされる症例の 実態を確かめるべく世界各地へ赴き、患者と関係者へのインタビューをもとに地域固 有の文化や社会背景を踏まえて考察し、<謎>の正体に迫る。 2023:4./ 431p 978-4-314-01197-6 ¥2,750〔税込〕



毎日新聞 2023/05/27



### 在日韓国人になる~移民国家ニッポン練習記~

林晟一 著

CCCメディアハウス

外国人店員をディスる客。それを見て見ぬふりする、在日コリアン3世の私…。<国民>になりきれない半分アウトサイダーの著者が移民国家ニッポンの歩みをたどり、希望を描き出す。

毎日新聞 2023/05/27

2022:12./ 302p 978-4-484-2229-5 ¥1,870〔税込〕





### 独学の地図

荒木 博行 著 東洋経済新報社

お金も学位も、誰かが作ったカリキュラムもいらない、学びの世界の歩き方とは。「どう学ぶか」の問いに、独学のための「行為」「能力」「土台」という3階層の構造で答える。独学をささえるブックリストも掲載。

2023:4./ 236p 978-4-492-04726-2

¥1,650〔稅込〕



毎日新聞 2023/05/27



### つぎはぐ、さんかく

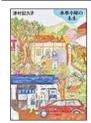
菰野 江名 著 ポプラ社

惣菜と珈琲のお店「 $\triangle$ (さんかく)」を営むヒロは、晴太、中学 3 年生の蒼と、きょうだい 3 人だけで暮らしている。ある日、蒼は卒業したら家を出るといい始めヒロは激しく反発するが、3 人はある複雑な事情を抱えていて...。

2023:1./ 286p 978-4-591-17612-2 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2023/05/27



### 水車小屋のネネ

津村 記久子 著 毎日新聞出版

身勝手な親から逃れ、姉妹で生きることに決めた 18 歳の理佐と 8 歳の律。たどり着いた町で出会った、しゃべる鳥<ネネ>に見守られ、人生が変転し…。人々が織りなす希望と再生の物語。『毎日新聞』連載を加筆修正。

2023:3./ 485p 978-4-620-10862-9 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2023/05/27



## 墓の建立と継承~「家」の解体と祭祀の永続性をめぐる社会学~

辻井 敦大 著

晃洋書房

「家」なき時代に、墓を建て、それを継承することの背景には何があるのか? 地方自治体・石材店・仏教寺院などが参与することによって、墓を建て、継承するという営みの意味が変容する過程を、社会学の観点から明らかにする。

2023:2./ 5p,260p,22p 978-4-7710-3690-1 ¥5,280〔稅込〕





毎日新聞 2023/05/27



### 母の愛、僕のラブ~歌集~

柴田葵 著

書肆侃侃房

恐竜に踏み潰されてぺらぺらなおでんは捨ててきみだけ逃げて 朝からもうがんがん 暑いイチゴジャム甘すぎる赤すぎるきれいだ 生きている元気な母よもう一度いっし ょに夏のドリルを解いて 歌集。 2019:12./ 127p 978-4-86385-387-4 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2023/05/27



### 戦争は弱者を犠牲にする

金田茉莉/前川喜平/海老名香葉子 著 くんぷる

戦災孤児の体験を持つ金田茉莉と、元文部科学事務次官・前川喜平が戦前の教育などについて対談。現在の教育の在り方やウクライナ侵攻などから戦争へ歩もうとしていることへ警鐘を鳴らす。

2023:4./ 127p 978-4-87551-052-9 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2023/05/27



## 家族~千葉皓史句集~

千葉皓史 著

ふらんす堂

枯菊の沈んでゆける炎かな 岩棚を潮のよこぎる日向ぼこ 卯の花や子供がつかふ風呂の音 菜の花を挿す亡き者に近々と 第 1 句集「郊外」以後、ほぼ平成末年までの作品を収めた第 2 句集。

2023:4./ 182p 978-4-7814-1530-7 ¥3,080〔税込〕



毎日新聞 2023/05/29



## 天國泥棒(短歌日記 2022)

水原紫苑 著

ふらんす堂

ウクライナいまだ抵抗しつつあるをひと忘れゆくどくだみの森 ひともとの芒となりてかへる日のしろがね巴里のいづこに光る **2022** 年の **1** 年間、ふらんす堂のホームページに連載した「短歌日記」を日付順に編んだ歌集。

毎日新聞 2023/05/29

2023:5./ 382p 978-4-7814-1554-3 ¥2,420〔税込〕

